LION

HEADLINE

山田實紘国際会長公式訪問・クラブ
会長セミナー

ふるさと探訪

熊本県芦北町・不知火海の冬の風物
詩、うたせ船漁と吊るし焼きエビ

今月の特集

福岡国際大会展望

1

LIONS INTERNATIONAL IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

JANUARY 2016 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌（毎月20日発行）第58巻第7号 2015年12月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書／ライオン誌創刊号復刻版

ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める

第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ

1部500円・送料実費

●大口注文割引

100〜499部＝1部450円

500部以上＝1部400円

ライオンズ新書02 LCIF早分かり

第1版第3刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 176ページ

1部400円・送料実費

●大口注文割引

100〜499部＝1部350円

500部以上＝1部300円

『ライオン誌』日本語版 創刊号復刻版

第1版第5刷

1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。日本にライオニズムがもたらされて6年目、誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ

1部300円・送料実費

●大口注文割引

100〜499部＝1部250円

500部以上＝1部200円

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門

第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識

第3版第3刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う

第1版第5刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●大口注文割引（ライオンズスクール・シリーズ）：100〜499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料（組み合わせは問いません）。※ただし、急ぎの場合は実費請求

■お申し込みはEメール（office@thelion.jp）またはファクス（03-6674-8781）でお願いします

LION MAGAZINE IN JAPAN
January 2016, Vol.58 No.7

We Serve CONTENTS

■2016年1月号
表紙
福島県いわき市
波立海岸・弁天島
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President

Dr. Jitsuhiro Yamada
Lions Clubs International
President

ライオンズ、難民危機に全員で取り組もう

一つひとつのライオンズクラブの仕事のやり方はこうだ。自分たちのコミュニティーで、そこにあるニーズを見つけ、そのニーズを満たすように奉仕活動を行う。国際協会もまさに同じように仕事をすると言える。急を要する大規模な問題や危機の存在に気付き、そしてそれに応える。第二次世界大戦以来最大だと言われる、現在ヨーロッパを恐るべき勢いで席巻している難民危機に対して、私を含め、多くのライオンズのリーダーは憂慮している。難民の人々は、ほとんどが若干の衣類の他には何も持たず、シリアやイラクから命を賭して我が家を離れた人々だ。父母は子どもたちに与える食べ物も無く、雨風をしのぐ屋根も無く、病気から身を守るすべも無い。

国際協会では国境を超えた奉仕の必要性をここに見いだし、国際協会とLCIF合同の組織として、支援の窓口となる「難民問題ステアリング委員会」を直ちに設置した。LCIFは既に20万ドル(約2500万円)の難民支援を目的とした交付金を承認。これに加えて、財団には難民支援のための献金として31.2万ドル(約3500万円)以上が会員から寄せられている。この金額は、今後まだまだ伸びていくだろう。

ライオンズから支援を受けるシリアとイラクからの難民の人々（ギリシャ国境に近いトルコにて）

前述の委員会は、ライオンズ会員にインパクトのある奉仕事業企画のための助言や指針を提供し、ライオンズの難民支援が最大限に効率を高め、かつ効果を発揮するように、パートナーを開拓している。きわめて有能な、ドイツのヘルムート・マーハウアー国際理事と献身的なイタリアのライオンクラウディア・バルドッジが共同委員長を務め、ギリシャ、トルコ、その他この難民危機に関与するヨーロッパのライオンズが委員会には名を連ねる。

ヨーロッパのライオンズは、時には個人的リスクも厭わず、既に現地で英雄的な支援を展開している。こういった活動に感動し、支援したいと願うものの、実際に仕事や家庭での義務を離れ、自らの手で支援を提供出来る人は少ない。しかし、私たち全員が、危機の現場近くで支援活動を行うライオンズの友人たちをサポートすることは可能だ。クラブや地区で資金獲得事業を行って貢献したり、直接LCIFへの寄付を行ったりすることで、彼らの活動の財源を確保するのも、十分すばらしい支援である。

ライオンズの皆さん、世界に心を開いて、一緒に仕事をしよう。世界中のライオンズ会員が一つになれば、何百万という難民のファミリーが、食事と安全を手に入れ、困難に満ちた人生から再スタートを切るチャンスを得るために貢献出来る。そう考えれば、遠く離れた世界での出来事も他人事ではなく、そして、私たちの胸のバッジに一層の誇りを感じないだろうか。

2015-16年度国際会長
山田實紘

※このメッセージの原文は国際協会公式ウェブサイトに掲載されています
http://www.lionsclubs.org/EN/about-lions/our-leadership/meet-the-leaders/presidents-message.php

HEADLINE

336複合地区／11月20日　岡山市

335-B地区／11月21日　大阪市

330複合地区／11月23日　東京都新宿区

333複合地区／11月16日　東京都荒川区

331複合地区／11月17日　北海道小樽市

332複合地区／11月18日　宮城県仙台市

山田實紘国際会長の日本の複合地区・地区への公式訪問が11月16日から23日にかけて全国6カ所で行われた。山田国際会長の日本の八複合地区への公式訪問は10月に東西2カ所で行われたが、クラブ会長に直接自らの考えを伝えたいという山田国際会長の希望により、過密なスケジュールの合間を縫って実現した。16日の333複合地区公式訪問にはクラブ会長やゾーン・チェアパーソンを中心に330人が出席。講演を行った山田国際会長はまず、GLTが取り組む指導力育成に触れ、年功序列ではなく人材を育てることが大切だとし、若い人たちにライオンズの理念、信念、理論をしっかりと伝えていくことが重要だと述べた。更に「アメリカでは民衆がヒーローを作り上げますが、日本ではヒーローは生まれにくい。ライオンズでも自分がなりたい人がリーダーの地位に就く傾向が見られますが、周囲が認める人を育ててリーダーを作っていくことが必要です」と、人材を見いだし育成するよう促した。また、直前に公式訪問したノルウェーや台湾のライオンズの動向、ヨーロッパにおける難民支援の動きなどの国際情勢や、会員増強に関する考えを語った。会員増強については、日本のクラブは他国のクラブに比べて会費負担が大きく、それが会員獲得の障害になっていると指摘。会員増強には現在推進しているFWTの方針に沿って家族及び女性の参加を増やすことや、クラブの事務をメンバー自身が担当することで運営費を削減し会費を減額するといったクラブの改革が不可欠だと述べた。山田国際会長は333複合地区に続いて、330、331、332、336複合地区と335・B地区を訪問。335・B地区では新クラブの枚方シニアライオンズクラブに認証状を手渡した。

SCENE

埼玉県・与野新都心ライオンズクラブ

取材／砂山幹博　写真／宮坂恵津子

串にささって玉こん、三つ並んで玉こん……さいたま市の新名物誕生か!?

２０１５年11月7日と8日の2日間にわたって、さいたま市中央区役所一帯で区民まつりが開催され、主に物産や飲食物を販売する１００近いテントが並んだ。飲食を扱うテント群の中にはライオンズクラブの名もちらほら見える。唐揚げなどを扱うさいたま与野ライオンズクラブと、フランクフルトなどを店頭に並べる与野中央ライオンズクラブ。そして、熱々の玉こんにゃくをその場で仕込んで販売する与野新都心ライオンズクラブ（藤田昌弘会長／30人）だ。

玉こんにゃくと言えば山形の名物として知られるが、本場顔負けの味と評判だ。それもそのはず、材料のこんにゃくは山形から取り寄せたもので、醤油、酒、みりんの他、昆布とスルメと共に鍋に入れてしっかり味が染み込むまで2時間以上煮込む。開場時間に間に合わせるため、2時間前の午前8時から仕込むという手の込みようだ。三つで１００円という安さに珍しさも手伝って、飛ぶように売れる。2日目はあいにくの雨で客足が鈍ったが、2日で３５００個が売れた。

15年前、山形出身の故ライオンが開発した玉こんにゃくのレシピは毎年試行錯誤が重ねられ、当初の味とはだいぶ異なっているようだが「山形に行かなくても本場の味を味わえる」とリピーターも多い。中でも生ビールと玉こんにゃく、同じ味付けの煮玉子がセットになったライオンセット（５５０円）が大人気だ。売上金は、クラブで力を入れている薬物乱用防止教育やＹＣＥ事業などに活用されている。

SCENE

岐阜南ライオンズクラブ

取材／井原一樹　写真／関根則夫

留学生に日本文化を。今年は紙すき体験とサンプル工場見学

11月3日、岐阜南ライオンズクラブ（中村明常会長／156人）のメンバーと岐阜大学への留学生を乗せたバスが美濃和紙の里会館に到着した。これは留学生を対象とした日本文化体験の一環。まずは紙すきを体験する。

留学生たちは初めて見る紙すきの道具に興味津々。慎重に紙をすいていた。その後には紅葉（もみじ）の葉っぱで飾り付け。使用出来る葉の枚数が3枚ということもあり、自分だけの紙を作るために試行錯誤を繰り返していた。

紙すき体験の後はバス移動。郡上八幡にある流響の里でけいちゃん焼きなど地域の料理を食べる。けいちゃん焼きは岐阜の郷土料理。下味をつけた鶏肉をキャベツなどの野菜と共に焼いて食べる料理だ。今回、中国やフランス、オーストラリアからの留学生に加え、インドネシアからも4人が参加している。宗教上の理由で肉が食べられない人たちからは要望を事前に聞き、違う料理を提供した。

食事後は食品サンプル工場へ。留学生たちはフルーツタルトの食品サンプル作りを体験した。

クラブと留学生との交流が始まったのは1980年頃。今では毎年、内容を変えてこの体験会を実施している。食品サンプル作りは今年が初めての試み。今の若い人たちに受けが良いものを、と大野満知子国際交流委員長が発案した。

この事業のクラブの悩みはフィードバックがなかなか得られないこと。「面白かった」と言ってくれる留学生の本音をどうすくい取り、今後の発展につなげるかが課題である。

CLUB REPORT クラブ・リポート

333-C地区

千葉県・四街道ライオンズクラブ

学校に動物園がやって来た！本物に触れる、夢のような一時。

11月24日、千葉県立千葉盲学校に移動動物園がやって来た。子どもたちにとって待ちに待った一日。普段自分たちが遊んでいる校庭に、アヒルやヒヨコ、ミニチュアダックスフント、ネコ、ヤギ、モルモット、ポニー、ウサギ、カメにリクガメが一度に突然現れる夢のような機会だ。これは四街道ライオンズクラブ（関根登志夫会長／24人）が20年前から毎年行っているアクティビティで、同校の幼児から高等部の生徒たちに動物と触れ合う機会を提供している。

県内唯一の盲学校である同校への支援が始まった当初は移動動物園ではなく、近くの畑で行う芋掘りだった。これがいつしか落花生の収穫体験となり、現在の移動動物園を学校へ呼ぶ活動に落ち着いた。子どもたちは授業の休憩時間を利用して、なかなか直に触れる機会のない動物との時間を思う存分楽しんだ。

動物たちと間近に触れ合う中で、子どもたちはさまざまな反応を示した。ヒヨコの鳴き声にじっと耳を澄ませて様子をうかがう子がいれば、ネコを触っていた時に予想以上に高い鳴き声を発したことに驚く子、カメの甲羅に触って「冷たい」と声を上げる子もいた。中でも大きなリクガメには多くの子どもが興味を示していた。

「歌では『せかいのうちで　おまえほど　あゆみののろい　ものはない』と歌われているけど、リクガメは歩く速度が思っていたより速いことを知った」

と冷静な観察をしている子がいたのが印象的だった。

ポニーの背に乗る乗馬体験も大人気で、子どもを背にしたポニーはひっきりなしに校庭を行き来した。その光景を、目を細めて眺めていた同校の能城和俊教頭に話を伺った。

「毎年開催してもらっているので、子どもたちは楽しみにしています。動物に触ったことがなく少し臆病になる子どももいますが、こればかりは経験するしかありません。生あるものに触れる経験は相手を慈しむ気持ちにつながりますから勇気を出して触れてほしいですね。移動動物園の後、幼稚部や小学部ではこの日の経験を絵にします。視覚に障害がある子どもたちです

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

から、触るという行為は非常に大事。実物の形状や体温をじっくり確かめるように感じてもらうとてもよい機会です」
動物との触れ合いだけではなく、父兄や家族の他、外部からライオンのようなおじさんが参加する催しは子どもたちにとって特別な思い出となるはずだ。
毎年11月の後半に開催されるとあって気温や天候が心配されるが、この日は風も無く、暖かい陽気の中で開催出来たのが何よりであった。
（取材／砂山幹博　撮影／長谷川直紀）

334-E地区

長野県・坂城ライオンズクラブ

全村避難中の福島県葛尾村で住民の求める支援を実施

福島県葛尾村（かつらお）は東日本大震災によって引き起こされた福島第一原子力発電所事故の影響で、全村避難が続いている。現在も同じ福島県内の三春町に仮役場（三春出張所）を置いている状況だ。仮役場に隣接する仮設住宅には今も多くの村民が暮らしている。

10月26日、坂城（さかき）ライオンズクラブ（作田光代会長／25人）が東日本大震災支援事業のため、ここを訪れた。メンバーは前日深夜にマイクロバスとトラック等に乗り、長野県を出発。葛尾村役場到着は朝7時30分。結団式後、メンバーたちは夜通し移動してきた疲れも感じさせず、すぐ炊き出しなどの準備に取りかかる。

今回、坂城ライオンズクラブは歯科診療、マッサージ、傾聴、レクリエーション、草刈りに炊き出しと盛りだくさんの内容を用意。住み慣れた場所を離れて暮らす寂しさを少しでも紛らわせることが出来ればとの思いで実施した。クラブによる支援事業は2回目のこと。同じ場所で継続することにより復興の足取りを感じると共に、よりきめ細やかな支援が出来ると考え、支援先を探していたところ、葛尾村の中心であった松本家は坂城の出身だったと言われていることから、白羽の矢が立ったのである。

クラブは坂城町と連携協定を結んでいる。そのため、この事業にはメンバー以外に、企業ではデイリーフーズ㈱のジャム製品の提供や宮後工業㈱の人員派遣から、民生児童委員や一般町民も参加している。クラブでは一般の方に被災者の現状を知ってもらうことも必要だと考え、「笑顔・元気・やる気」のある人を条件に参加者を募った。また、三春町の隣にある田村市の田村ライオンズクラブの協力も得ている。

更に今回は葛尾村教育委員会社会教育係岩谷一登係長と連携し、被災者に寄り添う内容で実施した。仮設住宅では家に閉じこもりがちな人が増え、横のつながりが出来にくいということから、傾聴ボランティアの実施を決定。日々の生活で重要なものは食事だということで歯科診療を選んだ。昨年、体の不調を訴える人が多かったため、マッサージを導入。簡単な体操も教えることにした。また、歯科診療に関しては、他の仮設住宅や、避難先にいる人で、歯が悪い人を葛尾村で選んでもらい、バス送迎で仮設住宅に来てもらった。

歯科診療以外に、歯の磨き方指導も実施

昨年実施した際、好評だったこともあり、今年はより多くの被災者が訪れた。

2016年3月に葛尾村では全村避難が解除されるという。だが、学校の再開予定は22年。過疎化が更に進むことが懸念されている。クラブでは避難生活が終わってからも継続支援をしていく予定だ。

（取材／井原一樹　撮影／関根則夫）

333-A地区

新潟県・長岡長生ライオンズクラブ

スペシャルオリンピックスに向け トーチランで知名度アップ

長岡長生ライオンズクラブ（大井尚敏会長／79人）は10月3日、スペシャルオリンピックス2016新潟「ナショナルゲーム・トーチランin長岡」を25周年記念事業として主催した。

2016年2月、第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームが新潟県で初めて開催されるが、知名度が低いため、トーチラン（聖火リレー）を計画。このトーチランには長岡市プログラムへ参加している知的障がいのアスリート25人を中心に、市から紹介頂いた13施設、アスリート50人、保護者、ボランティアスタッフを含め、総勢210人が参加した。

秋晴れの中、パトカーを先導に、ハーレーダビッドソン6台、トーチランナー、伴走者が続き、両脇には長岡市消防本部の方が横断幕で隊列を囲み、後方には、救護車、パトカーの万全の隊形でスタート。

沿道からの拍手や応援に元気をもらった参加者たち。「トキめいてキラめいて力いっぱい心いっぱい」、「We are the トーチラン！トーチラン！トーチラン！」のコールを叫びながら、5カ所の中継地点を経由して約2・5キロの区間、聖火をつなぎ、米百俵祭りでにぎわうメインステージへ。最終ランナーと長岡市長が聖火台へ点火してゴールとなった。

当クラブは、04年からスペシャルオリンピックスへの支援を継続的に行ってきた。これからも全ての人々が分け隔てなく共存する、そんなすばらしい社会の実現に向けて、改めて積極的に行動していくつもりだ。

（第2副会長／加藤和広）

336-D地区

島根県・松江、松江湖城、松江葵ライオンズクラブ

松江城国宝指定記念合同事業

2015年7月、島根県の松江城が国宝に指定された。市民の長年の悲願が結実したのである。世界ライオンズ・デーに合わせ、10月11日、午前7時半から約1時間、松江ライオンズクラブ（古志野功会長／133人）、松江湖城ライオンズクラブ（吉岡彰会長／92人）、松江葵ライオンズクラブ（福田宏二会長／84人）のメンバーとその家族約100人が城内外の清掃奉仕をした。

時折小雨の降る天候ではあったが、矢野敏明地区ガバナーを筆頭に一同心地よい汗を流した。家族での参加者が多く、お城の歴史を話しながら清掃する姿も見受けられた。子どもたちは奉仕をするお父さんの姿を見て、将来ライオンズに入会したいと思ったのではないだろうか。

松江城の国宝指定の決め手は、2012年に発見された城の祈祷札。これにより1611年に築城されたことが明らかとなったのだ。お城としては姫路城、松本城、彦根城、犬山城に続き、63年ぶりの国宝指定である。

松江城は堀尾吉晴公（愛知県大口町出身）が築城した近世城郭最盛期を代表する荘重雄大な複合式望楼型、4重5階、地下1階の天守閣だ。明治6年の廃城令の難をかろうじて免れ、現存する12天守の一つである。松江は先の大戦の空襲を受けておらず、昔の面影を色濃く残す全国屈指の貴重な城下町遺跡でもある。

全国のライオンズ・メンバーにも国宝に指定された松江城を見学し、城下町を散策して頂きたい。松江の良さを知って頂けるのではないだろうか。（ライオン誌サポーター／大野美雄）

334-A地区

愛知県・名古屋シティ ライオンズクラブ

愛フェス2015で 地元愛を競う地元愛グランプリ

9月19日、20日の2日間、秋晴れの空の下、愛フェス2015が愛・地球博記念公園内大芝生広場で開催された。愛フェスは「楽しむことが誰かのためになる。」を合言葉に2009年から市民と企業とNPOがみんなで参加し、創り上げてきた日本初、愛知発のファンドレイジング（資金獲得）イベントとして成長してきたもの。今年は愛知万博10周年記念イベント「花と緑の夢あいち」と併催された。

名古屋シティ ライオンズクラブ（34人）はライオンズクラブの活動PRと資金獲得を目的として参加。LCIF、薬物乱用防止教室、キャリアミーティング等、我々の日々のアクティビティとライオンズンクラブ全体の活動を、グローバルと地域密着の視点からPRした。

また、当クラブは県下14の地域が地元愛をテーマにこれを競う「地元愛グランプリ」にも名古屋南地区として参加。名古屋市緑区の「おけわんこ」、薬物乱用防止キャラクターの「ダメ。ゼッタイ。」君、大須のアイドルグループで、愛知県の薬物乱用防止PR大使でもある「OS☆U（Osu Super☆idol Unit）」と共に舞台に上がり、「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」を合言葉に薬物乱用防止を訴えた。準優勝というすばらしい結果になった。

また、当クラブのブースには多くの方が訪れ、薬物乱用防止に賛同、支持を頂いた。我々の活動に共感し、応援してくださった方々のおかげで充実したアクティビティを実施出来た。皆さんに感謝している。

（会長／田辺義晴）

337-E地区

熊本県・人吉ライオンズクラブ

楽しみながら活動 初の稲刈り例会を実施

10月10日、人吉ライオンズクラブ（33人）は稲刈り例会を実施した。これは今年から始まった新規事業である。

昨年秋、フッと頭をよぎった。今年度の大坪次期会長は農業を営んでいる。その特性を生かし、田植えや稲刈りを例会に取り入れ、奉仕活動の一環として実施するのも良いのでは、と。そこで、話をしてみると、大坪会長（当時はまだ次期会長）も同じようなことを考えていたという。

そこで計画への思いは一致した。だが、7月スタートのライオンズクラブで、新年度に入ってから田植えをしたのでは時既に遅しとなる。そこで、田植えなど、必要な準備は大坪会長にあらかじめ済ませてもらっておき、新年度に事業として承認してもらうことにした。そして、今期がスタート。稲刈り例会は予定通り実施することを年間スケジュールに盛り込んだ。

当日は秋晴れの空が広がった稲刈り日和。大坪会長は不慣れな会員たちに手を焼きながら、指示を出す。ほとんど会長の独壇場と言っても過言ではないほどの活躍だ。

ライオンズならではの労力奉仕。自ら体を動かし、汗を流した一日だった。かじったことも無い農作業に自分なりの知恵を働かせて挑んだこの事業だったが、それで得たものは最高だったと思う。このありがたみは例えようもない感激であった。

当クラブは2016年に55周年を迎え、式典を挙行する。これを機に新しいクラブ事業としてこの稲刈り例会を続けていければと思っている。

（幹事／生駒健之輔）

334-E地区

長野中央ライオンズクラブ

フードドライブ（食の支援活動）増田ガバナー、全国展開の意向

長野中央ライオンズクラブ（若林秀幸会長／119人）は毎年、フードドライブ活動を実施している（ライオン誌2015年2月号特集参照）。これは、家庭で余った食品を持ち寄り、児童養護施設等、食料の確保が困難な団体や、長野市社会福祉協議会を通じて生活困難者（家庭）を支援するための奉仕活動だ。

8回目となる今年は10月4日、善光寺表参道秋祭りの歩行者天国、新田町交差点北側で実施した。毎年、当クラブのみで活動をしてきたが、今回は第3ゾーン内5クラブの共催を頂いた。当日は長野市から樋口博副市長、増田悌造ガバナーもお見えになり、「大変有意義な事業で、全国展開したい」と抱負を述べられた。

食料品を送り届ける施設は、長野市社会福祉協議会で紹介された施設を基準とし、10月5日、10時からトィーゴ広場にて贈呈式を実施。児童養護施設、障害者福祉施設、在日フィリピン支援施設などに贈呈した。

今回のフードドライブは共催ライオンズクラブ始め、後援の皆様のご協力により、当初の想定より多くの食料が集まり、各施設に贈呈することが出来た。

現在の日本では食料の3分の1が破棄されている。日本では馴染みのない餓死だが、世界では食料不足による餓死者が何万人もいる。増田ガバナーの言われるように、趣旨をご理解頂き、日本ライオンズクラブ全体が結集して物資援助活動を行えば、多くの餓死者を救うことが出来るのではないかと思う。

皆様のご理解とご協力を願っている。（地区会報編集委員長／竹内伊吉）

333-C地区

第5リジョン第1ゾーン（千葉県）

熱帯雨林を守る植林活動 地球環境の保全を求めて

南アメリカを流れるアマゾン川流域に広がる熱帯雨林は、「地球の肺」と呼ばれ地球上の酸素の三分の一を供給している。人が3回呼吸すれば、そのうち1回はアマゾンで作られた酸素を吸っている計算だ。だが、このような掛け替えのない原生林が乱開発で、今、瀕死の状態にある。これを再生するには長年にわたって植林するしかない。

我々ライオンズクラブでは、地球環境の保全を永遠のテーマとして熱帯雨林の再生、とりわけアマゾンの循環植林を推進するため広く浄財を集める募金活動を展開している。

アマゾンで25年間植林活動を続けてきた長坂優氏が2015年5月20日、日本での講演ツアーの最終日に広島で急逝された。75歳であった。

彼の偉大な活動を引き継ぎ、アマゾンの原生林を守るための「地球人一人一本の植林運動」をライオンズでも推進する必要があると考えた。

そこで、333・C地区第5リジョン第1ゾーンは10月25日アンデルセン公園で開催された、船橋市国際交流協会主催の「インターナショナルフェスティバル」に参加して、募金を募ることにした。

当日はアマゾン植林基金の募金活動に加えて、青少年健全育成の一環として、子どもたちを対象とした竹トンボづくりや、ネイチャーゲームといった企画を実施。多くの人に楽しいひとときを過ごして頂いた。

募金も相当の浄財を集めることが出来た。多くの方々のご協力に感謝している。

（ゾーン・チェアパーソン／沢山良一）

334-C地区

静岡巽ライオンズクラブ

平成27年度全国育樹祭 国土緑化推進機構理事長賞で表彰

10月11日、全国育樹祭が皇太子殿下のご臨席を賜り、岐阜県揖斐川町で開催された。

育樹祭は継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、1977年から毎年秋季に開催されている。場所は全国植樹祭を開催したことのある都道府県。国土緑化推進機構と開催県の共催で行われる。

この育樹祭で静岡巽ライオンズクラブ（赤堀一通会長／69人）は緑化の推進に顕著な実績を挙げた団体として、平成27年度「ふれあいの森林づくり」国土緑化推進機構理事長賞で表彰され、感謝状を頂いた。

これは、2011年から毎年秋に実施しているダイラボウ・巽の森大作戦を始めとした当クラブの活動が評価されたものだ。この作戦は静岡県から「しずおか未来の森サポーター」に認定された当クラブが、静岡市中山間地振興課、地元の富厚里の地域の人々、ボーイスカウト、中藁科小学校の児童や留学生など200人以上の参加者と共に開催している環境保全事業である。

今後も、環境保全活動を通じて中山間地域の発展、中山間地の人たちと参加者の交流に寄与し、未来を担う子どもたちと世代を引き継ぐ森林づくりを継続事業として進めていく。

また今回、当クラブがこのような賞を頂いたことによって、ライオンズクラブが福祉・青少年関係だけでなく森林づくり活動等の環境保全活動にも積極的に携わっているということを全国の林業関係者、行政関係者にも伝えることが出来たと思っている。

（環境保全委員会／江河宏征）

337-A地区

福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ

タクシー協会に ニセ電話詐欺抑止ステッカー寄贈

北九州紫水ライオンズクラブ（67人）は近年多発しているニセ電話詐欺（電話でうそを言って現金をだまし取る詐欺）の被害防止を呼び掛けるステッカーを作成し、北九州タクシー協会に寄贈した。

タクシーは、ニセ電話詐欺の標的になりやすい高齢者の利用が多い。運転手が乗客の様子を不審に思い、声を掛けた結果、詐欺を未然に防いだケースもあることから、小倉北警察署が注意喚起を促すステッカー作成を発案。当クラブで協力させて頂く運びとなった。

ステッカーは「電話でお金はすべて詐欺！」と書かれており、同協会に加盟し、北九州市内や京築地区を走っているタクシー3500台に貼られる。

10月1日、小倉北警察署でステッカーの贈呈式が行われ、元地区ガバナー、クラブ五役、社会福祉委員長、PR会報委員長が出席をした。この日は、新聞、テレビのマスコミ取材もあり、ライオンズクラブの活動を一般市民の皆様に広く知って頂く良い機会にもなったと思う。また、原田大助署長からは「タクシーに乗ってお金を振り込みに行ったり、手渡しに行ったりする被害者も多く、被害防止に役立つ」とのお言葉を頂いた。

ニセ電話詐欺を含め、振り込め詐欺による被害が年々増加している中、ステッカーが犯罪抑止に役立ってくれることを強く願っている。また、今後とも地域社会に密着し、今期のクラブ目標の一つに掲げている「思い出に残る新しい奉仕活動」に取り組んでいきたい。

（会長／春田知見）

3分間
ライオンズ
アクティビティ編

青少年奉仕
薬物乱用防止

薬物乱用の魔の手から子どもたちを守れ

日本における第1次覚せい剤乱用期は第2次世界大戦後。戦前から一種の強壮剤として使用されていたヒロポンがちまたに広がり、中毒者と犯罪が急増しました。第2次乱用期は1980年代。暴力団などの資金源にするために主に韓国・台湾で作られ持ち込まれたものです。第3次は90年代後半。主に北朝鮮や中国で密造され、犯罪組織や外国人により街頭や携帯電話を通じて密売され、一般市民や年少者にも広がりました。更にここ数年は危険ドラッグの蔓延（まんえん）が大きな問題となっています。

87年、日本に薬物乱用防止事業を推進することを目的とした公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター（当初は財団法人）が設立されました。当時既に日本のいくつかのライオンズクラブは、国際協会による薬害教育のプログラムに取り組んでいましたが、センター設立後はこれと協力し、より具体的で明確な活動を展開していきます。

まず、ご存じの方も多いかと思いますが、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動。麻薬撲滅を目指す国連決議に基づき、同センターが主宰する啓発活動で、国民一人ひとりの意識を高めることで蔓延防止を目指します。日本ライオンズは特に青少年を対象に、これを実施しています。

332-E地区（山形県）にクラブ合同で発足した薬物乱用防止プロジェクト・チーム「薬らん坊」による薬物乱用防止教室

また日本ライオンズは、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金活動にも協力しています。薬物問題は1国で解決出来るものではなく、地球規模で取り組むための資金を募るものです。皆さんが街頭募金やチャリティー・イベントなどで集めた浄財は、国連を通じて、開発途上国等で薬物乱用防止運動に従事しているNGOなどを支援するために使われます。

97年には東京鶯谷ライオンズクラブとセンターとの協同認定による、薬物乱用防止教育講師認定制度が作られました。ライオンズ・メンバーはまず専門家による講習を受けて、薬物に関する知識と、生徒を相手に授業を行うためのテクニックを身に付けます。その上で地元の学校に出向いて薬物乱用防止教室を開催、子どもたちに薬物の恐ろしさを伝えます。この活動は全国に広がり、その意義と成果が高く評価されて、厚生労働省、文部科学省、警察庁及び内閣府の後援名義の使用許可を得ました。

更に、ライオンズクラブ国際協会の公認奉仕プログラムであり、LCIF四大交付金の対象となっているライオンズクエストもまた、薬物乱用防止を目的の一つとしています。子どもたちはプログラムを通じて、薬物や酒、タバコの誘いを断るなど、さまざまな危険から身を守るためのスキルを身に付けていきます。

日本ライオンズの薬物乱用防止活動は主に、薬物にまだ手を染めていない子どもたちが一生その危険を回避していけるように指導するものです。危険ドラッグの蔓延など、危険がより身近に迫ってきている昨今、ライオンズの活動はより重要度を増していると言えるでしょう。

LCIF FILE

LCIF Development Update

LCIF Development Update

LCIF創設50周年記念目標 後期初年度②

本誌11月号にLCIF創設50周年記念キャンペーンの6年間プロジェクト後期目標を発表しました。そして目標達成のため以下の項目を皆様にお願い致しました。

①20ドル以上（50ドル、100ドル）の全員献金（クラブ会員100%）を目指す（達成時＝総目標額の24%になります）

②MJF（千ドル）献金の前期比5%アップ達成を目指す（達成時＝総目標額の76%以上）

③バースデーMJFのキャンペーン（周年記念事業、会員の誕生日記念、事業所の創業記念等々）

それに新しく、ヨーロッパで一般化している④「感謝のMJF」の普及（例えばクラブの会長、功労者、地区役員、貢献著しい会員等々に感謝を込めてMJFを贈る）を加えることになりました。

さて、後期初年度4カ月の実績を検証しますと、確実にご理解され浸透した地区と、これから成果が期待される地区とに判別出来るようであります。

現在、年度の3分の1、即ち33%を経過したことになります。とはいえ期末の3カ月間は、例外はあるものの年次大会アワードなどの関係で、例年極端に献金の減少が見られます。従ってこの時点では、達成率40%以上が順調な歩みと思われます。現在、16地区がこれに到達しており、332・D地区の69・9%を筆頭に60%台5地区、50%台1地区、40%台10地区、40%未達19地区となっています。

複合地区では335複合地区の達成率53・6%を先頭に50%台1地区、45%台3地区、40%台3地区、20%台1地区。中でも335複合地区は全4地区が40%以上となっています。

この結果を精査してみますと、達成率トップの332・D地区はMJF124口で、既に目標159口の78%に達しているなど、高達成地区はいずれもMJFが当然のことながら大きく貢献していることが分かります。また同様に良好な達成率の地区ほど、「クラブ会員100%」のキャンペーンが浸透し高い伸長率に結びついていると言えます。

一方、一人当たり献金額をみますと、トップの334・A地区の125ドルから、9ドル未満の地区まで大きな隔たりが浮かんで参りました。本年度の数字が次年度、最終年度に総額として影響します。どうかご理解頂き、ご支援ご協力を切にお願い致します。（LCIF国際委員、エリア・コーディネーター／桜井孝一、澁田繁晴）

■LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と目標達成への必要額（ドル）2015年10月31日現在

地区	初年度目標額	献金実績	MJF	達成率	目標達成必要額
330-A	296,162	106,838	39	36.1%	189,324
330-B	550,133	359,646	258	65.4%	190,487
330-C	109,191	47,270	27	43.3%	61,921
331-A	301,245	88,270	77	29.3%	212,975
331-B	143,217	25,675	21	17.9%	117,542
331-C	61,401	23,756	17	38.7%	37,645
332-A	94,992	43,473	24	45.8%	51,519
332-B	98,629	13,000	12	13.2%	85,629
332-C	125,341	50,435	44	40.2%	74,906
332-D	189,278	132,260	124	69.9%	57,018
332-E	62,551	24,645	20	39.4%	37,906
332-F	41,050	18,580	18	45.3%	22,470
333-A	155,669	32,580	26	20.9%	123,089
333-B	114,588	43,600	41	38.0%	70,988
333-C	201,343	129,474	111	64.3%	71,869
333-D	150,671	57,420	53	38.1%	93,251
333-E	296,510	67,060	56	22.6%	229,450
334-A	1,281,309	574,470	390	44.8%	706,839
334-B	311,692	112,230	101	36.0%	199,462
334-C	268,425	66,304	58	24.7%	202,121
334-D	286,345	190,277	163	66.5%	96,068
334-E	245,159	64,000	64	26.1%	181,159
335-A	111,712	49,680	45	44.5%	62,032
335-B	571,240	278,243	223	48.7%	292,997
335-C	319,259	133,274	97	41.7%	185,985
335-D	129,468	57,632	55	44.5%	71,836
336-A	275,358	103,268	76	37.5%	172,090
336-B	115,970	73,642	33	63.5%	42,328
336-C	251,183	136,080	101	54.2%	115,103
336-D	147,352	63,210	39	42.9%	84,142
337-A	388,105	151,194	132	39.0%	236,911
337-B	176,808	46,535	37	26.3%	130,273
337-C	196,355	68,292	56	34.8%	128,063
337-D	126,273	28,120	24	22.3%	98,153
337-E	83,174	16,960	12	20.4%	66,214
全国	8,400,000	3,477,393	2,674	41.4%	4,922,607

ネパール大地震の救援活動において重要な役割を果たすライオンズ

2015年4月25日、マグニチュード7・8の大地震がネパールを襲った。2週間後にはマグニチュード7・4の最大余震が発生。その後数カ月にわたって、何千もの余震が繰り返しネパールの大地を揺らした。一連の地震により国内のインフラは壊滅的な打撃を受け、ネパール国民の心にも大きな傷が残った。

ネパールで「ゴルカ地震」と呼ばれるこの地震による被災者は、死者9千人、負傷者2万3千人に上る。多くの村が全壊し、およそ800万人が家を失った。地震に伴って各地で地滑りや雪崩が発生。世界最高峰のエベレストでも雪崩が観測された他、観光地も大きな被害を受けた。百年に一度の自然災害と言われる今回の大地震について、以前から専門家はその可能性・危険性を指摘していたが、国としての対策は不十分であった。

LCIFは、地震発生後直ちに10万ドルの大災害援助金をネパールのライオンズクラブに交付した。大災害援助金は大規模な自然災害に対して拠出される交付金で、緊急支援から長期的な復興事業まで一連の救援活動に多岐にわたって利用される。

最初の地震発生時、ネパールでは1500人以上のライオンが地区会議に出席していた。地区のリーダーたちは救援活動を行うための組織を結成して、出来る限りの支援物資を収集。米と塩、マットレスからなる救援キットが直ちに準備された。

一方、各国のライオンズからも支援の手が差し伸べられた。ヨーロッパからは浄水装置、インドからは雨よけテントとソーラーライト、バングラデシュからは毛布7千枚、パキスタンからは救援キット5千セットが提供された。こうした物資を輸送するためにネパール各地に配送基地が設置され、救援物資の輸送に大いに役立った。

自分たちも被災していたにもかかわらず、地元ライオンズも救援活動に従事した。被災後の輸血急増にいち早く対応するために献血活動を展開。わずか1日で約2千リットルの血液を集め、近隣地域の血液バンクに十分な在庫を確保することが出来た。

地震後3日間、ネパールのライオンズは昼夜を問わず救援活動に携わった。不足していた物資が徐々に被災地に集まってくると、配送基地を増やし対応に当たった。当初は米や塩、マットレスだけだった救援キットにも、麺類などの食料、雨よけテント、毛布などさまざまな物資を入れられるようになった。ライオンズは合計1万7千もの救援キットを、個人や家族、学校や診療テントに提供した。

特に大地震の数日後から豪雨が続いたため、救援キットに入っている雨よけテントが大いに役立った。また、ライオンズは各地域に避難所を設け、食事の提供も行った。余

ライオンズから食料を受け取るサムブ・バハードゥル・バンダリさん（左）

ライオンズから救援物資を受け取り、村に戻る村民

震が続く中、建物の倒壊を恐れ、我が家に立ち入ることが出来ない人々の多くが、屋外生活を強いられていたからだ。

ＬＣＩＦの交付金とネパール・ライオンズの結束により、救援活動における物資の調達は、さほど難しくはなかった。問題はどのようにして被災者の元へ救援物資を運ぶかであった。ネパールは山に囲まれた国で、多くの集落が孤立していた。起伏に富んだ険しい地形をぬって救援物資を被災者に届けることは困難を極めた。多くの村民が救援キットを求め山から下りてこなければならなかった。へき地への物資運搬にはヘリコプターが利用され、治療が必要な被災者の移送にも役立てられた。パンカジ・プラダン325複合地区元協議会議長は当時の状況についてこう語った。

「支援の届かない被災地では、多くの人々が我々の到着を喜んでくれました。その表情には、地震が起きて以降初めて安心したといった様子が見てとれました。被災状況について、皆さんのお話は心が痛むものばかりでしたが、そんな中でも復興の希望を見つけ出すことが出来ました。皆さんが我々の支援を支持してくれたのです」

支援物資の積み下ろしや運搬のための人集めが困難だったため、地元ライオンズは自らその作業を買って出た。余震が続く中、物資が届くことを心待ちにしている人々の元へ、車の通行が困難な地域には歩いて出向くこともあった。たとえ、震源地に近い場所であっても、地元ライオンズは臆することなく、自ら危険を冒しながらも支援活動の手を休めることはなかった。

最初の地震から10日後、地元ライオンズはシンドゥ・パルショーク郡のダヌア・バスチ村に到着した。その日まで村にたどり着いた救援チームは一つもなかった。

壊滅的な被害を受けた村人たちは皆白い衣服を身に着けていた。喪に服す時は白い衣装を身に着けるという習慣にならって、出来合いの避難所に身を寄せ、切迫した状況下で支援を待っていた。ライオンズはテントや毛布などの救援物資を提供し、近隣の診療テントに治療が必要な人々を移送し処置を施した。

一方、廃墟の中で生まれる新しい希望もある。プール・マヤ・タマングさんはライオンズの設置した災害テントの中で元気な女の子を出産した。母子はライオンズの支援によって、より安全な避難所に移送され、新しい生活に向けた準備を始めることになる。

サムブ・バハードゥル・バンダリさん（76歳）は震災後、多くのヘリコプターが頭上を通過していく光景を眺めていた。ライオンズの救援チームが初めて到着した時、サムブさんは目に涙を浮かべながらスタッフのそばに歩み寄った。両手に支援物資の食料と毛布を抱き、これでようやく2人の孫に食べ物を与えることが出来る。自分も食料の調達や避難所へ赴くことが出来ると語り、感謝の気持ちを伝えた。

その他の支援活動として、ライオンズは医療支援テントの設置や薬剤の配布、衛生環境の整備などにも尽力した。また、ネパール政府と連携し千棟の家屋と50棟の学校の再建を計画、新しい建物は耐震を考慮した作りになるという。

ＬＣＩＦはこれまでに500万ドル以上の交付金を拠出。これらは緊急支援と長期的復興事業の両方に役立てられる。ネパールのライオンズはＬＣＩＦと共に、国家の再建を目指し、継続して支援活動に従事していくことを誓った。

（国際理事：サンジャイ・キタン／カサンドラ・ロトロ）

14年ぶりの日本開催となる福岡国際大会に向けて

特集：福岡国際大会展望

第99回ライオンズクラブ国際大会が、2016年6月24日から福岡市で開催される。日本では14年ぶり4度目の開催となる国際大会の概要と見所を福岡国際大会ホスト委員会の皆さんに伺った。

本部ホテルのヒルトン福岡シーホークと大会総会が開催される福岡 ヤフオク!ドーム

インターナショナル・パレードは福岡の目抜き通りで

――日本では14年ぶりの開催となる福岡国際大会まで、あと半年となりました。

不老　皆さん、既にご存じかと思いますが、2016年の第99回国際大会は6月24日から28日まで福岡市で開催されます。ライオンズクラブの国際大会というのは、開催都市と国際協会が契約を結んで実施するもので、我々ホスト委員会の役目は、その前後に開催される国際理事会や地区ガバナー・エレクト・セミナーも含めて、大会が成功するよう側面から支援することにあります。

藤井　福岡は337複合地区に所属するため、ホスト委員会は当複合地区を中心に構成されています。もちろん複合地区を挙げて大会を盛り上げるべく、大会開催地である福岡だけではなく、オール九州・沖縄として準備を進めているところです。また、日本は一つの理念の下、各複合地区からもさまざまな形でホスト委員会に加わって頂いています。

北島　そんな中、10月16日から約1週間、国際協会による現地視察があり、福岡市を交えて綿密な調整が行われました。まだ詰めるべき部分はありますが、現段階での準備に関しては国際協会から高い評価を頂き、今後、本番に向けてラストスパートをかける段階となっています。

不老　少し大会の概要をご説明すると、まず6月19日から22日まで、本部ホテルでもあるヒルトン福岡シーホークで国際理事会が開催されます。理事会自体に我々は関与しませんが、会場や配偶者プログラムに関してのお手伝いをします。北島実行委員長のお話にあった国際協会視察の際、それらも視察して頂きましたが、目玉の一つとして福岡のライオンズクラブが支援している障害者施設を入れたところ、山田国際会長から大きな評価を頂きました。

　大会前にはもう一つ、22日から3日間にわたって地区ガバナー・エレクト・セミナーがあります。全世界から約750人のガバナー・エレクトが出席され、2012年の東洋・東南アジア（OSEAL）フォーラムの会場となった、福岡国際会議場と福岡サンパレスで開催されます。

北島　その後、24日に大会サービスセンターがオープンし、いよいよ国際大会が始まります。大会の華、インターナショナル・パレードは25日に行われ、博多どんたくと同じ明治通りを行進することになります。

玉川　パレードの日は土曜日ですので、大勢の市民がその様子を目にし、世界中のライオンズと触れ合う機会ともなり、大きなPR効果が期待されます。

不老　博多の目抜き通りをパレードで終日使用するというのはかつてないことで、県の許可を取るのが大変でしたが、知事がバックアップしてくださり実現しました。また、パレード解散地点の天神中央公園では、土曜、日曜の2日間にわたり、ホスト委員会による80店ほどのライオンズ・マーケットを出します。市民や観光客も交え、福岡をライオンズ一色に染め上げたいと思っています。

藤井　解散場所の近くには福岡市役所があるのですが、ここで337‐A地区116クラブのアクティビティを紹介する写真展を開催します。また、創設者メルビン・ジョーンズから山田實紘国際会長までのライオンズの歴史や、東日本大震災被災地への支援活動、大村智氏のノーベル賞受賞のきっかけとなったイベルメクチンによるオンコセルカ症撲滅活動など、世界のライオンズの写真展も、福岡岩田屋三越の特設会場で開催します。

座談会出席者

不老安正（福岡県・太宰府ライオンズクラブ）
大会ホスト委員会委員長／元国際理事

藤井勝彦（福岡県・伊都福岡ライオンズクラブ）
大会ホスト委員会推進委員長／協議会議長

北島建則（佐賀第一ライオンズクラブ）
大会ホスト委員会実行委員長／元協議会議長

玉川孝（熊本マグナ ライオンズクラブ）
大会ホスト委員会PR委員長／元地区ガバナー

古川隆（福岡くしだライオンズクラブ）
大会ホスト委員会登録推進委員長／キャビネット幹事

内海清（福岡ふようライオンズクラブ）
大会ホスト委員会事務局長

■2015年11月17日　ホテル日航福岡にて

日本の心を伝えるインターナショナル・ショー

――ライオンズクラブにとって大きなPRの場となりますね。

玉川　ホスト委員会としては、国際大会という絶好の機会を捉え、さまざまな活動を通してライオンズをPRしていこうと考えています。お話のあったパレード解散地点でのライオンズ・マーケットや写真展もその一環です。また、国際協会から要請された企画を活用したものもあります。これは福岡国際大会の開会に合わせて、海外のライオンズ・メンバーが、広島から福岡まで数日かけて走るというものです。

過去の大会でも同様の企画が実施されたことがあるそうで、これからコースに当たる336複合地区の方とも連携して、支援体制を整えることにしています。更には今後、フェイスブック等を通じて、日本からも一緒に走ったり、沿道で応援したり、あるいは宿泊先で交流したりする方を募集する予定でいます。

古川　これもPRの一環になるかもしれませんが、大会期間中には、レオクラブの活動も計画しています。主に337・A地区のレオによる落書き消しなどのアクティビティを考えていますが、日本の他地区や世界のレオも参加してくれたら、更に有意義な企画に発展すると思います。

北島　ホスト委員会として力を入れているプログラムの一つにインターナショナル・ショーがあります。パレードがある25日の夜に、プロ野球で日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークスの本拠地・福岡ヤフオク！ドームで行われます。日本を代表する和太鼓グループ「DRUM　TAO（タオ）」と、シンガーソングライター谷村新司氏が出演します。

TAOはOSEALフォーラムの開会式でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、世界22カ国で650万人を動員した、迫力あるステージを見せてくれるはずです。また日本のみならず、アジアでも広く人気を得ている谷村氏ですが、今回は九州交響楽団との共演となり、どのようなステージになるか、私たちも楽しみにしているところです。

内海　翌日の26日からは、大会総会がヤフオク！ドームで3日間にわたって行われる他、福岡国際会議場ではさまざまなセミナーが開かれ、隣接するマリンメッセ福岡には国際本

インターナショナル・ショーに出演する和太鼓グループ「DRUM TAO」（写真は2012年OSEALフォーラムでのパフォーマンス）

■ライオン北島建則

■ライオン不老安正

■ライオン藤井勝彦

部を始めとする各種展示コーナーも設けられます。ここからは国際協会が取り仕切るプログラムになりますが、我々ホスト委員会もボランティアとして会場の案内などを行います。ホスト委員会のスタッフを見掛けたら、気軽に声を掛けて頂きたいと思います。

大会総会は日本一の福岡 ヤフオク!ドームで

――主会場はインターナショナル・ショーと大会総会が行われるヤフオク!ドーム、大会サービス・センターや各種セミナーが行われるマリンメッセ福岡と福岡国際会議場という形になるでしょうか。

不老 その通りです。ヤフオク!ドームは福岡市中央区のシーサイドももち地区にあります。開閉式屋根を持つ多目的ドーム球場で、ドーム球場としては日本一の広さを誇ります。メイン・スコアボードの「ホークスビジョン」は縦約10メートル、横約53メートルで、ハイビジョン対応スクリーンでは世界最大級だそうです。大会総会では、これをメイン・スクリーンとして使います。

藤井 ヤフオク!ドームへのアクセスは、公共交通機関を利用する場合、福岡市地下鉄空港線の唐人町駅が最寄り駅となります。博多駅から約11分、天神からは5分程度で、駅からドームまでは歩いて約12分というところです。

古川 博多駅や天神地区から西鉄バスも出ていますが、インターナショナル・ショーや総会に合わせて、大会サービス・センターや主要ホテルから、福岡国際大会の公式シャトルバスが運行します。

内海 一方、マリンメッセ福岡と福岡国際会議場は、博多港国際ターミナルに近いベイエリアと呼ばれる地区にあります。2012年には、ここでOSEALフォーラムが開催されましたので、日本の皆さんにとってはお馴染みの会場ではないでしょうか。

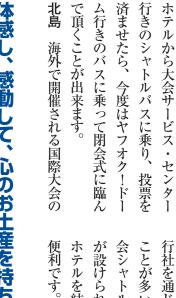
藤井 マリンメッセ福岡は県内最大規模のアリーナ施設で、近隣には福岡国際会議場だけではなく、福岡サンパレスや福岡国際センターなどの施設が集まっており、隣り合って配置された施設の連携の良さが特徴です。博多、中洲、天神といった繁華街にも近いですし、市内循環バスも充実しています。

不老 大会最終日の投票は、マリン

■ライオン古川隆

■ライオン内海清

■ライオン玉川孝

メッセ福岡で行われます。当日朝、ホテルから大会サービス・センター行きのシャトルバスに乗り、投票を済ませたら、今度はヤフオク！ドーム行きのバスに乗って閉会式に臨んで頂くことが出来ます。

北島　海外で開催される国際大会の場合、日本からの参加者の多くは旅行社を通じて専用のバスで移動することが多いと思います。しかし、大会シャトルバスには幾つかのルートが設けられており、会場間や会場とホテルを結んでいますので、非常に便利です。

体感し、感動して、心のお土産を持ち帰って頂くために

――久々の日本開催ということで、国内から多くの参加者が予想されます。

不老　ホスト委員会としても参加登録の推進を図っていますが、海外から約1万6千人、日本は約3万5千人の登録を見込んでいます。国内の内訳は337複合地区が1万人、山田国際会長のホスト地区である334複合地区が6千人、比較的近い335、336複合地区は各5千人、330複合地区3千人、遠方の331、332、333複合地区は各2千人という見込みです。

北島　今回の福岡国際大会は、日本から34年ぶりに国際会長に就任された山田實紘国際会長の集大成となる大会です。自国出身の国際会長が国際大会を主宰することは、大会開催のチャンスが多いアメリカ以外ではほとんどないことですので、日本からも出来るだけ多くの皆さんに参加して頂きたいと考えています。

古川　先日、337複合地区内の青年アカデミー委員会が中心となって、九州フォーラムという企画を実施しました。九州、沖縄から500人近い会員が集まり、50テーブルに分かれてディスカッションを行いました。その中で、福岡国際大会を絶対に成功させよう！という気運が盛り上がっているのが感じられました。

藤井　私もガバナー公式訪問で各地を回る中、日を追うごとに大会へ向けて関心が高まってきていることを感じます。これまで我々は「成功させよう」と訴えてきたのですが、最近では「成功させるぞ！」という声が開かれるようになり、九州全体が燃えてきた感があります。

北島　今になってみると、OSEALフォーラムを経験したことが大きかったですね。結果としてフォーラ

ムが大成功を収め、今回のホスト委員会では、そこで活躍した若手のメンバーを積極的に登用しています。

不老　福岡国際大会のホスト委員会には18の委員会があり、多くの若手会員がを中心となって動いています。名前や経験で選ぶのではなく、今回は行動力で選びました。そのため、若いメンバーが委員長を務めている委員会もあります。

藤井　今年度は337‐A地区のキャビネットも、50代の人たちを中心に構成しました。現在、ホスト委員会とキャビネットが一体となって、国際大会の成功に向けて走っているところです。

北島　若手がリーダーシップを発揮し、更には女性会員の活躍もあります。これからの337複合地区を考えると、この福岡国際大会は非常に大きな意味を持つと思います。

玉川　私も同感です。ライオンズは老壮青そろって初めて、いい活動が出来ると考えています。その点、福岡国際大会のホスト委員会は、地区役員等を経験したことのない若い人たちにやる気を起こさせており、それが大きな効果を上げています。先程お話のあった九州フォーラムもそうでしたが、ボトムアップによって、全九州が更にすばらしい方向へ進んでくれるのではないかと期待しているところです。

内海　お話の通り、現在18の委員会がそれぞれ活発に活動していますが、今後、それらを一つのベクトルにまとめ、更に各クラブへ落とし込んでいくことも必要だと考えています。ヨコだけではなく、タテの線も強固なものにし、九州、沖縄挙げての「おもてなしの心」で、大会に臨みたいと思います。

不老　ライオンズクラブにおいては、心と心のつながりが重要ですよ。国際協会だけでは出来ない部分を我々ホスト委員会が補い、型にはまった大会ではなく、参加された方が感動してくださるような大会にしたいと、ホスト委員会では全力を挙げて準備を整えています。国際大会を、そして福岡の魅力を存分に体感し、感動して、心のお土産を持ち帰って頂きたいと願っています。皆さん、福岡でお待ちしています。

（写真／田中勝明　構成／鈴木秀晃）

第99回ライオンズクラブ国際大会 主要日程（暫定）

●6月24日（金）

時間	内容
08:00～16:00	第99回国際大会記念ゴルフコンペ［麻生飯塚ゴルフ倶楽部］
10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス･センター［マリンメッセ福岡･福岡国際会議場］
14:00～17:00	各種セミナー［福岡国際会議場］
19:30～22:30	地区ガバナー･エレクト祝賀晩餐会［ヒルトン福岡シーホーク］

●6月25日（土）

時間	内容
10:00～	インターナショナル･パレード［明治通り：冷泉公園～天神中央公園］
10:00～18:00	ライオンズ･マーケット［天神中央公園］
11:00～17:00	展示ホール及び大会サービス･センター［マリンメッセ福岡･福岡国際会議場］
19:00～20:15	インターナショナル･ショー［福岡 ヤフオク！ドーム］

●6月26日（日）

時間	内容
10:00～13:00	第1回総会＝開会式［福岡 ヤフオク！ドーム］
10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス･センター［マリンメッセ福岡･福岡国際会議場］
10:00～18:00	ライオンズ･マーケット［天神中央公園］
14:00～17:00	各種セミナー［福岡国際会議場］

●6月27日（月）

時間	内容
10:00～12:30	第2回総会［福岡 ヤフオク！ドーム］
10:00～17:00	展示ホール及び大会サービス･センター［マリンメッセ福岡･福岡国際会議場］
13:30～15:00	メルビン･ジョーンズ･フェロー昼食会［福岡国際会議場］
13:30～17:00	各種セミナー［福岡国際会議場］
20:00～22:00	元国際会長／元国際理事晩餐会及び地区ガバナー／元地区ガバナー晩餐会［ヒルトン福岡シーホーク］

●6月28日（火）

時間	内容
07:30～10:30	投票及び大会サービス･センター［マリンメッセ福岡］
10:00～13:30	第3回総会＝閉会式［福岡 ヤフオク！ドーム］
19:00～21:00	国際役員レセプション［ヒルトン福岡シーホーク］

国際理事だより

■国際理事
佐藤宣之
（大分）

国際協会視察団が福岡を訪問

10月18～22日、福岡で開催される第99回国際大会の現地視察が行われました。山田實紘国際会長ご夫妻、ロバート・コーリュー第1副会長ご夫妻を始め総勢17人の視察団でした。

本部ホテルとなるヒルトン福岡シーホークでのホスト委員会とのミーティングを皮切りに、総会会場のヤフオク!ドーム、DGEセミナーの宿泊ホテル、シャトルバス関連、国際協会管理ホテル、インターナショナル・パレード関連各所の視察と打ち合わせが行われました。国際本部スタッフは担当分野に分かれて、各会場の収容人数やその設備が完全に適合しているかなど、大変入念に確認します。視察した全施設を使用するのではなく、最も適した施設・設備が選択されます。この視察データをもって最終案が決まるのです。

それでは国際大会開催地はどのように決定され、運営されるのでしょうか。国際会則に「本協会の大会は毎年、国際理事会が定める年月日に同理事会が定める場所で開催」とあります。それを受けて、理事会方針書に大会開催地選定法が決められており、入札により決定されます。概要は次の通りです。

①入札の第一条件として、複合地区ガバナー協議会の推薦書が必要

②基準を満たした客室最低5千室を用意。75％はメイン会場から半径10マイル以内、25％は15マイル以内

③大会開催2年前の5月1日以降、部屋代の値上げは不可

④総会等開催用の座席数1万2千、舞台が完全に見える70×40フィートの会場

⑤大会サービス・センター及び展示場となる17万平方フィートの会場

⑥DGEセミナー及び本部ホテルとしての機能を果たせる設備の提供

これらを経て、16年6月24日から福岡国際大会が開かれます。日本開催のチャンスにみんなで参加しましょう。

次に国際大会と、会則地域で開催されるフォーラムの違いについて触れておきます。OSEALフォーラムについては「OSEALフォーラム規則」という規則があります。要約すると、

①協会の目的の促進及び国際会長の年度目標を十分考慮し、東洋・東南アジア地域においてライオニズムを高揚する

②協会の目的及び道徳綱領に則り、地域及び国際間のよりよい理解と親睦を深める

③OSEALは、性格において非政治的で、宗教に属さず、人種に関係ないものでなければならない

④会則・付則及び協会の目的の範囲内で運営し、地区組織以上の組織を作ってはならない

フォーラム運営は開催地域の国際理事の管理下で行われ、理事には理事会方針の目的が履行されるよう確認する責任があります。私は2016・17年度OSEALフォーラム企画委員に任命されました。国際理事会とフォーラム組織委員会の連絡役をしっかり務めるべく気を引き締めているところです。

ライオンズ・ニュース・カセット

LIONS NEWS CASSETTE

フランス同時多発テロ犠牲者に対する国際会長の追悼メッセージ

11月13日に発生し130人もの犠牲者を出したパリ同時多発テロを受けて、山田實紘国際会長は16日、ライオンズクラブ国際協会公式ブログに英語とフランス語で次のような追悼メッセージ（本誌訳）を発信した。

「ライオンズは国際社会と共にフランスの人々に心よりお悔やみ申し上げ、あらゆる暴力とテロリズムを非難します。

我々の心はこの非道な行為の被害者と愛する家族を失ったご遺族と共にあります。私は今年度のテーマを『命の尊厳と和（Dignity, Harmony, Humanity）』としました。暴力からは尊厳（Dignity）は生まれません。和（Harmony）は思いやりから育ちます。人類愛（Humanity）は支援を必要とする人々に奉仕することで高まります。

テロリズムは倫理と我々が守ろうと努力している平和の歩みを損なうものです。

自由（Liberty）、独立（Independence）、我我の国の安全（Our Nations Safety）。

フランスよ永遠に！ 平和と相互理解よ永遠に！」

ヨーロッパと世界のライオンズによる難民支援活動

スウェーデン（101複合地区）のライオンズはトルコ（118複合地区）のライオンズと協力して難民支援の活動を行っている。スウェーデンの平和活動家、レイフ・アーデム・ニヨルドと妻のニルガン・ニヨルド、トルコのファディム・デミルッチは3回にわたり、シリア国境に近いトルコの小さな村を訪問。シリアとイラクから逃れてきた家族千世帯に、両国のライオンズの支援による食料とベッド、毛布、オモチャを配布した。同じくシリア国境に近いレバノン北東部の難民キャンプには今年初め、ノルウェー（104複合地区）のライオンズとレバノン（351地区）のライオンズが協力し、トラック14台、子どもたち6万人分に相当する衣類や靴を届けた。元ジャーナリストのアイナー・リンガルと所属するリングサーカ ライオンズクラブの呼び掛けで、ノルウェーの約100クラブが支援に参加。レバノンのライオンズはキャンプ内で学校が始められるよう学用品セットを提供した。難民キャンプへ支援物資を届けたのは、リンガルとベイルート・ダウンタウン ライオンズクラブのアミン・ハチャ会長。レバノンのライオンズの働き掛けにより、政府当局の協力を得て無事に難民キャンプへたどり着いた。世界中のライオンズが、シリア及びイラクか

レバノンの難民キャンプで子どもに靴下をはかせるリンガル

らの難民のために資金調達や物資供給に取り組んでいる。LCIFは難民支援のために20万ドルの交付を承認し、財団にはライオンズから更に31万2千ドル以上が寄せられている。国際協会とLCIFは難民問題ステアリング委員会を設置して、この問題に取り組むことにしている。

332‐C地区で炊き出し訓練を兼ねたL‐1グランプリ

【谷村明信332‐C地区ライオンみやぎ委員会副委員長】332‐C地区（宮城県／石川達雄地区ガバナー）では、2015年11月15日（日）石巻市の石巻青果市場において「炊き出しメニューナンバーワンを決めよう！ライオンズ祭りL‐1グランプリ」を開催致しました。L‐1グランプリは被災者支援や被災地復興を目的とし、災害時における炊き出し活動の訓練を兼ねて、各ライオンズクラブが集って炊き出し料理をふるまい、そのおいしさを競い合うという催しです。地区内68クラブのうち21クラブが自慢のメニューで炊き出しを行いました。来場者千人を想定しておりましたが2千人を超える方々が来場され、大賑わいの中、メンバー全員がライオンズのロゴ入りのジャンパーを着用し、炊き出しに奮闘しました。地区外からも千葉ネオライオンズクラが手伝いに駆け付けてくださいました。グランプリに選ばれたのは、338票を集めた仙台高砂ライオンズクラの山形風芋煮、第2位は313票の石巻桃生ライオンズクラ・桃生牛の牛すじ煮込み、第3位は210票の仙台エコーライオンズクラ・カニ雑炊でした。グランプリの仙台高砂ライオンズクラは、炊き出しの他にLCIFの支援を受けて被災者支援に役立ててきた機械を使用して、ポップコーンと綿あめの配布も行いました。

石川地区ガバナーは「東日本大震災発生後の被災地支援において、炊き出しは数多く行われ、そして、今でも続いている支援です。他地区のライオンズクラブを始め全国の皆様による炊き出しには、大変感謝しているところであります。332‐C地区の炊き出し訓練をかねたL‐1グランプリは、ご来場者に楽しんで頂き、成功裏に終えられました。炊き出しを通して奉仕する力を高めることが出来たと確信しております」と高く評価されました。

LCIF交付金申請期限の変更

今年7月1日からLCIF理事会の機構が変更されたのに伴い、LCIF理事会会議の日程と交付金申請の提出期限が変更された。これまでは一般援助交付金、国際援助交付金、四大交付金の申請期限は国際理事会会議開会の60日前だったが、2016年1月以降はLCIF理事会会議（1月、5月、8月に開催）開会日の90日前となる。次回の交付金申請期限は2月2日（5月3日に開会するLCIF理事会の90日前）となる。

紛争下のシリアで人道支援を実現するということ

日本赤十字社が発行するメールマガジン「赤十字国際ニュース」第59号は、11月初旬に来日したシリア赤新月社（赤新月はイスラム教国における赤十字）の職員で、ボランティアの救急救命士としても活動するラワン・アブドゥルハイさん（29歳）とラガド・アドリさん（26歳）が語ったシリアでの人道支援の現状を伝えた。

それによれば、シリア赤新月社の救急隊ボランティアは70％が女性。来日した二人は首都ダマスカスを拠点に活動し、いつ戦闘に巻き込まれるか分からない中、一般市民の避難誘導や食

料配布活動の他、爆弾が投下された場所や銃撃戦が起きた場所で負傷者の救急搬送を行う活動に従事している。紛争状態にあるこの5年間にボランティア48人が命を失った。「危険だと分かっています。でも壊れゆく街の中で苦しんでいる人たちを目の前にして『何かしたい』という思いだけで、全力を尽くして人々を助けています」と彼女たちは言う。繰り返し強調されたのは「紛争下での活動では『中立』であることがいかに大切か」ということだ。

「『中立である』とは、たとえ目の前で倒れている戦闘員が、自分の家族や友人を傷つけた側の人であると分かっても、救いの手を差し伸べ助けること。実行するにはすさまじい精神力を必要とします。シリア赤新月社には3072人のボランティアがいますが、その一人ひとりがこの『中立性』を厳格に守り、全ての紛争当事グループの人々に『シリア赤新月社の中立性』を理解してもらうことで、シリア全14県での支援活動を可能にしています。国際社会からのシリアへの支援についても、シリア赤新月社のボランティアが『中立』を掲げ、国連などに代わり現地の人々に届けています」

「赤十字国際ニュース」は日本赤十字社ウェブサイトでも読むことが出来る（http://www.jrc.or.jp/activity/international/news/）。

会議録

■**第2回複合地区国際大会委員長連絡会議要録**（10月27日）Ⅰ第54回東洋・東南アジア・フォーラム（タイ・バンコク）①フォーラム参加登録予定数②最新フォーラム日程確認③各行事について④オセアル・ジャパン・ナイト＆福岡PR⑤国際会長歓迎晩餐会　Ⅱ第99回福岡国際大会①暫定国際大会日程②早期大会登録③大会登録予想数④LCIホテル割り当て⑤インターナショナル・パレードについて

■**第4回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議**（11月4日）①山田国際会長複合地区別公式訪問日程と準備②議長連絡会議と麻薬・覚せい剤乱用防止センターとの合意文書③第54回OSEALフォーラム関連（12月3日～6日バンコク）④【臨時】日本ライオンズ事務所統合委員会会議報告⑤「倫理委員会」の設置について⑥1複合地区（シカゴ）協議会議長からのメールについて⑦2020東京オリンピック・パラリンピック支援金口座⑧その他⑨各種会議要録⑩日本ライオンズ連絡事務所運営関係

■**第4回ライオン誌日本語版委員会**（11月6日）①ライオン誌日本語版事務所の運営②公式版ライオン誌編集者会議報告③事務所統合委員会④2015年11月号（10月20日見本／9万6700部発行）出来⑤12月号記事内容の確認⑥2016年1月号以降台割（案）と主要記事予定⑦ライオン誌デジタル化⑧その他

新結成／解散クラブ

■新結成クラブ

東京並木通（田中圭子会長／40人）▼11月25日認証▼スポンサー／東京数寄屋橋

■解散クラブ

11月＝兵庫県・千種

訃報

■献眼者

10月＝ライオン鈴木敏行（静岡県・袋井）／ライオン小澤道雄（静岡橘）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際大会開催予定

第99回＝16年6月24日～28日／日本・福岡

第100回＝17年6月30日～7月4日／アメリカ・イリノイ州シカゴ

第101回＝18年6月29日～7月3日／アメリカ・ネバダ州ラスベガス

第102回＝19年7月5日～9日／イタリア・ミラノ

第103回＝20年6月26日～30日／シンガポール

2. 2016年6月に日本・福岡で開催される国際大会に提出する国際会則から第9条を削除する会則改正案を会則及び付則委員会に要請することを承認。
3. 2014年7月トロント国際理事会において承認された、財務活動停止方針を改正する財務及び本部運営委員会の決議第5を撤回する。すなわち、この決定により、財務活動停止方針は直ちに改正以前のものに戻す。
4. 国際第3副会長の旅行に関する規定について、2016年7月1日を発効日とした理事会方針書の変更を承認。
5. 理事会方針書の第12章と第21章について事務処理的改定を行う。

リーダーシップ開発委員会

1. 日本、福岡における2016年地区ガバナー・エレクト・セミナーの計画、日程、及びグループ・リーダー・チームを承認。
2. 理事会方針書を現在のリーダーシップ開発委員会とリーダーシップ開発部という名称を正確に反映させたものに改定。

長期計画委員会

1. 策定中の新たな5カ年戦略プラン、「LCIフォーワード」について、その主要目標とその補助的目標を承認。主要目標はライオンズの奉仕のインパクトを3倍にし、2020-21年度末までに年間2億人の人々の生活を向上させることとする。併せてこのプランの枠組みを示した概要プランを承認。
2. 更にプランの開発を進めるための戦略プランチームを任命し、その活動をサポートするための少額の予算を承認。
3. より多くの人々が人道的奉仕活動に参加するための将来の奉仕活動への取り組み方を研究討議するための国際ワーキング・グループの設置を承認。
4. 100周年アクション委員会の構成に追加を行った。

会員開発委員会

1. 「ジョイン・トゥギャザー」パイロットプログラムを停止。ただし、パイロット実施地域において、ライオンズに転換を希望するライオネスクラブに関してはこの適用を継続する。
2. O複合地区（アルゼンチン）における特別イニシアチブに対して2万5千ドルの会員開発交付金を承認。
3. オンラインでのクラブ結成手続きを含めるように新

クラブ結成手続きに関する方針の文言を改定する。
4. 家族会員に関する方針の資格と報告に関する文言を改定し、住所確認、家族関係確認、そしてMyLCIによるオンライン報告について含めるようにする。
5. MyLCIによる報告を含めたものにするため、キー賞に関する方針の文言を改定。
6. 終身会員に関する方針の文言を、自動化された承認手続きを反映させたものに改定。
7. 終身会員に関する方針の文言を、国際理事会による承認の必要性を削除したものに改定。

PR委員会

1. 現在の「役職の順位」をPR委員会報告の添付紙Aのものに置き換える。
2. 2018年1月1日まで新たなライオン誌公式版の承認は一時停止する。
3. 理事会方針書第20章のいくつかの段落を現行と一致するように改定。

奉仕事業委員会

1. 2015-17年度のレオクラブ諮問パネルのメンバーを選任。
2. 青少年キャンプ及び青少年交換プログラムに関する理事会方針書第1章を明確にするため整理。

※上記決議事項のいずれかに関する詳細は、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）でご覧頂くか、国際本部にお問い合わせください。

国際理事会決議事項要約
ハンガリー・ブダペスト
2015年10月1日～4日

監査
1. 理事会方針書第2章パラグラフBの記述を改め、合同監査委員会に関する記述を削除し、別途LCIF監査委員会が設置されたことを反映させた。
2. 理事会方針書第11章パラグラフC.2を削除し、第2章パラグラフB.3を改定し、該当する章において内部監査の独立を反映される記述となるようにした。

会則及び付則委員会
1. ライオンズクラブ国際協会の登録された代理人としてCSC社（コーポレーション・サービス・カンパニー）を承認。
2. 国際第3副会長の役職を再導入するように理事会方針書を改定する決議を採択。
3. 標準版会則及び付則の配布に関して規定した国際理事会方針書第20章パラグラフQ.2.を改定。
4. 他の理事会方針書の規定と統一するため、理事会方針書第3章パラグラフE.3を改定。
5. 既に行われた標準版地区付則の改定と統一させるため、理事会方針書第7章に掲載されている標準版複合地区付則を改定。
6. 理事会方針書を一般的現行と一致させるため、大会におけるピン交換に関する理事会方針書第15章の商標・紋章に関する方針を改定。
7. 副会長候補者検討諮問委員会の目的、構成、任務及び任期について更に明確に規定するため、理事会方針書第2章パラグラフAにある同委員会に関する規定を改定。
8. プログラムや奉仕事業への資金利用がより柔軟に行われるようにするため、国際会則にある緊急資金の規定を削除する改正案を2016年国際大会に提出する決議を採択。
9. 事務総長の任命に関する国際付則の規定の改正案を2016年国際大会に提出する決議を採択し、改正案の可決がされた場合、国際理事会方針書第18章パラグラフAとBの規定を改正することを合わせて決議。

大会委員会
1. 2016年福岡国際大会の日程を改定。
2. 福岡国際大会における、他の経費支払いを受けない任命された資格証明委員会のための日割り日当金額、及び地区ガバナー・エレクトと地区ガバナー・エレクト・セミナー講師（グループ・リーダー）、及び国際本部スタッフの日割り日当金額を決定。
3. 将来の大会候補都市現地視察に任命を受けた代理が出席することを可能とするように国際大会入札方針を改定。
4. 国際大会登録と宿泊のキャンセル料を増額するように理事会方針書を改定。
5. 2016年7月1日から国際第3副会長が再導入されることを含めるように理事会方針書を改定。
6. 選挙実施規則を補欠代議員の資格証明手続きを削除するように改定。

地区及びクラブ･サービス委員会
1. タブビル（Tabubil）ライオンズクラブに対し、6カ月間の保護ステータスを承認。
2. マリナ・バルセゴバ元地区ガバナーをアルメニア共和国の追加のコーディネーター・ライオンとして、ペア・クリステンセン元国際理事をモルドバ共和国の追加のコーディネーター・ライオンとして任命。
3. 暫定地区を合併統合する地区再編成案提出の結果で、かつ承認が2018年10月までに行われ成立した新地区である場合、新地区となった1年目には会員1人当たり2ドル、新会員1人当たり1ドルと実施後2年間にわたり会員純増数1人あたり10ドルを、地区再編成に伴う経費の補てんと地区の成長を支援するために交付金として提供する。
4. 316-C地区（インド）、3複合地区（オクラホマ）、及び316複合地区（インド）から申請された、2016年国際大会閉会の時点から発効する地区再編成案を承認。
5. Eメール・アドレスと電話番号の入手が可能となる電子データでの報告を奨励するように理事会方針書を改定する。
6. 会員情報の保護を更に進めるように理事会方針書を改定。
7. 事務総長に関する記述を訂正するように理事会方針書を改定。
8. 記載箇所の変更があったパラグラフを参照している部分が新しいものと合致するように理事会方針書を改定。

財務及び本部運営委員会
1. 赤字となる2016年第1四半期の収支見通しを承認。

会員増強プロジェクト・チーム

会員倍増計画リポート④

◎西日本担当GMTエリアリーダー報告
◎337-A地区：会員倍増計画の取り組みについて

◎世界の力は西日本から

GMTエリアリーダー
西日本担当／丸山正芳

本年度7月、日本ライオンズの長年の祈願であった山田實紘国際会長が誕生致しました。記念すべき歴史的出来事ではありますが、100周年を迎える国際協会には多くの課題があります。

その中でも会員増強は、最も大きな課題の一つであります。会員減少に歯止めをかけると共に、また新たなる奉仕活動の形態として、山田国際会長のメインテーマでもあります家族及び女性の増強のため、FWTが発足しております。もちろん、従来のすばらしき会員を維持増強することも重要ではありますが、家族会員制度を有効に活用してこそ、その課題解決に大いなる力となります。

各地区においては地区ガバナーを始め関係役員の皆様が、日々ライオンズクラブの健全なる発展に寄与しておられますが、まずは私たち日本から、そして今や世界最高エリアの西日本から、その力を発信しようではありませんか。

改めて、日頃の皆様の奉仕活動に感謝致し、一層の会員維持増強にご尽力を頂きますようお願い申し上げます。

◎会員倍増計画の取り組みについて

337-A地区FWTコーディネーター／柳徳枝

10月新会員増加全国1位の準地区の報告の指示を藤井勝彦地区ガバナーから受け、大変うれしく思いました。

FWT地区コーディネーターに任命された時、どこから手を付けていいか分かりませんでした。名古屋で公認ガイディング・ライオン・セミナーを受け、次には全日本女性シンポジウムに出席し、FWTの流れが把握出来たと思います。FWTとはF（家族）W（女性）T（チーム）を意味することを基本に置き、まず337-A地区第5リジョンのガバナー公式訪問に同伴し、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、各クラブの方々とのコミュニケーションを図り、名刺交換を致しました。

各クラブには反対の方もおられましたが、だんだんと耳を傾けて頂ける方向に向かっています。すばらしい山田会長の下で、第99回ライオンズクラブ国際大会を感動的で有意義な大会となりますように、「おもてなしの心」で皆様をお迎えし、成功に導きたいという気持ちでいっぱいでございます。

10月新会員数ベスト6地区

☆第1位　337-A地区
133人（累計386）増
藤井勝彦地区ガバナー

☆第2位　336-C地区
119人（累計324）増
片岡文彰地区ガバナー

☆第3位　336-D地区
117人（累計306）増
矢野敏明地区ガバナー

☆第4位　336-A地区
93人（累計242）増
橋本充好地区ガバナー

☆第5位　335-B地区
81人（累計410）増
中村猛地区ガバナー

☆第6位　336-B地区
80人（累計158）増
尾﨑博地区ガバナー

（国際本部集計／10月末現在）

福岡国際大会への道 ⑤

本番8カ月前の国際協会視察

２０１５年10月16日から21日まで、山田實紘国際会長ご夫妻、ロバート・コーリュー国際第１副会長ご夫妻以下17人が国際本部から来福されて現地視察が行われました。２０１４年12月14日から18日の第１回視察後、２回目となる視察で、約１週間にわたってホスト委員会、チーム福岡、福岡市コンベンション・ビューロー、福岡市などとの綿密な打ち合わせ、指導・調整が行われました。

１回目の視察は大まかなもので、ホノルル国際大会の前でもあり具体的な打ち合わせなどなく、施設やホテルなど地元の説明を聞いておく程度でした。

今回は18日午前中から本部ホテルとなるヒルトン福岡シーホークを視察され、16時から18時までは国際本部とホスト委員会、チーム福岡などとのミーティングが開催されました。そこでは各委員会の現状報告を行い、その後、国際会長や大会部部長などから質問がありました。日本的なあいまいな回答は通用せず、明快な報告を求められ、かなり厳しい時間帯となりました。

翌日からは各担当者ごとのチームに分かれて市内各所の現地視察、ミーティングが始まりました。山田会長ご夫妻のチームは大会前に開催される国際理事会関係の会場やホテルを、コーリュー副会長のチームはＤＧＥ（地区ガバナー・エレクト・セミナー）関係の会場や三つの滞在ホテルを、それぞれ２日間視察されました。

←国際理事会の配偶者プログラムの訪問先に予定されている障害福祉サービス事業所JOY明日への息吹を視察

→ヒルトン福岡シーホークでの会議

本部スタッフはそれぞれの担当分野ごとにホテル、ヤフオク！ドーム、マリンメッセ、パレード・コース、シャトルバス関係などを視察し、同行した企画会社や外部委託会社に細かい指示がなされました。

ホスト委員会が担当するインターナショナル・パレードに対しても、かなりの修正の指摘がなされました。パレードは国際大会の行事の中でも一番の花形であり、ライオンズクラブに対する市民の認識を高める絶好の機会であります。その成功のために意義のある指摘がありました。

最後に開催された総括の会議では、本部側から高い評価を下され、より以上の責任を感じた視察でした。全体的には企画会社や委託会社とのすり合わせが主たる目的で、我々は国際本部から要請された内容に「おもてなし」の心を最大限発揮し、日本、九州、福岡の思いが強く印象に残る大会にしたく思います。

（第99回ライオンズクラブ国際大会実行委員長／北島建則）

エリアフォーラム・リポート③

ヨーロッパ・フォーラム

第4会則地域のフォーラムは10月9日〜11日、ドイツ・バイエルン州アウクスブルクのコンベンション・センター、コングレス・パーク・アウクスブルクで開催された。このフォーラムを取材してOSEALフォーラムとの大きな違いを感じたのは、明確な目的を持って実質的な議論を行うセミナーや会合が多いということだ。奉仕活動に直結する問題が熱心に話し合われていたのが印象的だった。

（取材／ライオン誌日本語版委員　佐藤義則）

第4会則地域：ヨーロッパ
- ●国数：59の国及び地域
- ●クラブ数：9,520クラブ
- ●会員数：25万5,649人

（2015年10月末現在）

フォーラム中に2回開かれたヨーロッパ協議会での投票風景。壇上の役員が真剣な表情で票を数えていた

奉仕活動を中心に

ドイツ南部のバイエルン州にあるアウクスブルクは人口約27万7千人。ミュンヘン、ニュルンベルクに次ぐ州内第3の都市だ。紀元前15年にローマ皇帝によって城が築かれたのが街の起源とのことで、ドイツで最も歴史ある都市の一つに数えられる。

フォーラム会場はアウクスブルク駅から徒歩10分余りの所にあるコングレス・パーク・アウクスブルクで、地元ライオンには比較的便利な場所であった。正面入り口には横長の大きな看板があり、その手前の3基のポールにライオン旗2本とレオ旗がはためき、レオクラブの位置付けの大きさが分かる。他にも、フォーラム行事の会場となった教会や市庁舎の前にライオンズの旗が立っていたが、OSEALフォーラムで見られるように街中に旗や看板が並ぶような光景はなかった。開催地の景観条例などの違いによるのかもしれない。

フォーラムの日程には延べ79のセミナーや会合が組まれている。その半数以上は奉仕活動に関わるテーマで、参加者は自分が関与していたり興味を持っていたりするテーマのセミナーに積極的に参加する。例えば青少年交換の会合は2日間にわたり行われ、150人ほどが実務的な話し合いを持っていた。全体の半数が女性で、派遣生の母親世代と思われるライオンが積極的に発言していた。後で確認したところホスト・ファミリー経験者が多いとのこと。私が傍聴した時は障害を持つ若者の受け入れが話題だった。この会合で各国間の派遣・受け入れ人数の協定が結ばれるため、日本でYCEのヨーロッパ窓口を担当する334複合地区のYC

E委員長、副委員長も出席していた。

ほとんどのセミナーは英語で行われたが、一室だけ同時通訳ブースが用意され、山田實紘国際会長と地区ガバナー、GMT／GLTなど特に重要な会合ではドイツ語、フランス語、イタリア語の3カ国語の通訳が提供された。ヨーロッパもOSEALと同じく多言語の地域だが、英語がほぼ不自由なく使われている上、複数の言語を操るメンバーも少なくない。英語で進行していたセミナーの中でフランス語の発言者が出ると、会場の誰かが即座に通訳を買って出るといった場面も何度か見掛けた。

フォーラム行事の中には青少年支援の奉仕事業も組み込まれている。一つは、24回目を数える音楽コンクールだ。各国で選抜された奏者が出場するコンクールで、今回は17人の若いクラリネット奏者が出場し、3回にわたる審査に臨んだ。もう一つの「ヤング・アンバサダー」は地域奉仕プロジェクトに取り組む青少年の表彰で、各国で選ばれた若者がプレゼンテーションを行い、そのアイデアや活動を審査するもの。平和ポスター・コンテストのように、クラブでの選出に始まり、地区、国際審査へと進む仕組みだ。どちらも1位から3位を決定して閉会式で表彰が

音楽コンクール最終審査は古い教会で行われイタリア代表の青年が第1位に選ばれた（写真左）。ヤング・アンバサダー第1位はアイルランド代表の女性が受賞（右）。レオ会員を始め会場には若者の姿が多かった

行われ、優勝者には賞金3千ユーロを贈呈。音楽コンクールの優勝者はオーケストラをバックに従えて演奏を披露した。

開会式ではコンテンポラリー・ダンス、閉会式ではオーケストラ演奏がプログラムの合間に組み込まれ、ヨーロッパらしい文化の薫り高い演出だった。

ヨーロッパの連帯

第4会則地域は欧州連合（EU）加盟国28カ国と、ロシアを含む旧ソビエト連邦の国々やトルコ、イスラエル、域内各国の海外領域や自治領など59の国と地域で構成されている。フォーラムを取材して、ヨーロッパのライオンズが一つの共同体として密接に結びついていると実感した。

ヨーロッパ地域ではエリアに属する国及び地域をメンバーとする協議会を設けており、フォーラムはこの協議会の監督の下に開かれる。協議会の会合はフォーラムの中で2回開かれ、協議が行われていた。主なテーマは会員増強への効果的な取り組み、国際協会100周年、そしてヨーロッパの難民危機への対応だ。難民危機の問題はセミナーでも取り上げられ、ライオンズに出来る支援として、難民流入への対応が難しい小国での支援や言語習得のための教育支援といった奉仕の可能性が提言されていた。協議会では、国際協会とLCIFが合同でエリア内の国際理事や8カ国からの委員らで構成するステアリング委員会を立ち上げ、難民問題への対応を協議することが発表された。その他、協議会規則の変更や次回以降のフォーラムに関連する決議の採決では、投票権を持つメンバーが賛成は緑、反対は赤のカードを示して投票が行われた。

こうしたヨーロッパ地域の連携は奉仕活動においても緊密だ。ドイツやフランスを始めとするヨーロッパの主な国々では、自国のライオンズで独自に財団を持ち、発展途上国での支援事業や、災害救援活動に取り組んでいる。そうした活動に各国が連携して当たるため、ユーロ・アジア協議会、ユーロ・アフリカ協議会が設けられている。フォーラムではそれぞれセミナーが開かれ、事業報告や情報交換が行われた。ユーロ・アフリカのセミナーにはアフリカの元国際理事や元地区ガバナーらも参加。セネガルの元地区ガバナーが小児向けの眼科ケア・プロジェクトについて説明し、支援を求めていた。レオクラブでも各国の代表レオ1人

熱気あるYCEセミナー（右）と、ユーロ・アフリカ会議で事業計画を説明するセネガルの元地区ガバナー（左）

ずつで構成する協議会があり、「レオ・ミーツ・ライオンズ」のセミナーでは、月1回のオンライン会議を開き、共通の課題を話し合ったり、合同奉仕事業を企画したりしていることが報告された。

閉会式は1時間の予定が2時間もかかった。計画の見込み違いもあったのだろうが、少しテンポが悪かった

めりはりのあるプログラム

今回のフォーラムには何人が参加しているのか、フォーラム組織委員会のオフィスでスタッフに尋ねたところ、1200人ぐらいと回答があった。更に、国別の人数が知りたいと言うと、やや怪訝な表情で「調べておくので取りに来てほしい」とのこと。後で渡されたペーパーによれば、総数は986人で、地元ドイツが299人、イタリア90人、ベルギー87人と続く。これに役員やスタッフを加えれば1200人近くになる、ということのようだ。

OSEALフォーラムでは閉会式で国別参加者数と総数が発表される。参加者が何人集まったかで成否が判断されている印象だが、私が耳にした限りヨーロッパ・フォーラムの中で参加者数が話題に上ることはなく、人数は重要視されていないと感じた。また、OSEALフォーラムでは団体での参加が目立つが、そうしたグループは見当たらなかった。

フォーラムの登録料は180ユーロ。ウェブサイト上で登録手続きを行いクレジット・カードで決済すると、すぐにEメールでQRコード付きのチケットが届く簡便なシステムだ。登録料には初日の開会式後の「ゲット・トゥゲザー」、2日目の晩餐会の料金が含まれている。また、コンベンション・センター内では常時、飲料水やコーヒーが無料で提供され、昼食はセット料金で3・5～4・5ユーロで提供されていた。

初日の「ゲット・トゥゲザー」は「ライオンズ・オクトーバーフェスト」と銘打たれ、巨大テントのビアホールで特大ジョッキを片手に陽気に歌い、はしゃぎ、思い切り楽しんだ。一方、晩餐会はコンベンション・センターのホールやロビーにテーブルを配置し開かれたが、開幕後の当日登録が予想を上回り席が足りなくなったとのことで、対応に苦慮していた。人数が多いだけに料理や飲み物の提供にかなりの時間を要したが、男女の道化役ペアがテーブルを回って愛嬌を振りまき、その心遣いに心が和んだ。晩餐会にはレオクラブのメンバーも大勢参加しており、女性は結婚披露宴さながらにイブニングドレスをまとって華やぎを添えていた。

昼はセミナーで奉仕について真剣に学び合い、夜は宴を満喫しつつ交流を深める。めりはりのある充実したフォーラムであった。

フォーラム登録者は誰でも参加出来るライオンズ・オクトーバーフェスト

●宮城県南三陸町

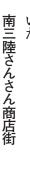
第11回復興グルメF-1大会

　東日本大震災被災地の仮設商店街などが創作料理を競う「復興グルメF-1大会」が、11月15日、宮城県南三陸町のベイサイドアリーナ特設会場で開催された。この大会は、三陸沿岸の商店街や各種団体が連携して、2013年1月にスタート。宮城県気仙沼市での第1回大会を皮切りに、岩手、宮城、福島各県の被災地で開催されてきた。11回目となった今回は、これまでで最多の9地域、11団体が参加。町内外から約1500人が来場し、三陸沿岸のグルメに舌鼓を打った。

　東日本大震災からもうすぐ5年。被災地では本格復興に向けて、さまざまな事業が行われている。が、その歩みはゆっくりとしており、目に見える成果は少ないのが現状だ。更には時間の経過と共に、外部からの支援も少なくなり、被災地を訪れる人も減少の一途をたどっている。そこで、被災地自らが主体となり、三陸のおいしい食材を生かしたグルメを通して被災地の現状を発信しようと、この大会が始まった。また、被災地同士で情報や知恵を共有し、新たな復興への協力体制を形成することも目的としている。

　大会には、LCIFの東日本大震災指定交付金を受けた岩手県陸前高田市の高田大隅つどいの丘商店街や、宮城県気仙沼市の気仙沼復興商店街南町紫市場も参加。高田大隅つどいの丘商店街は、陸前高田市のオリジナル米「たかたのゆめ」を使った「ゆめの海鮮パエリア」を出品。またディフェンディング・チャンピオンの南町紫市場は、黄金チャーハンにアツアツの特製気仙沼ホルモン煮込みをかけたスープチャーハン「KHS焼飯」で参戦。この他、北は岩手県大槌町（福幸きらり商店街）から南は福島県南相馬市（TEAM南相馬かしま福幸商店街）まで、被災地のグルメ・ブースが会場に並んだ。

　その中で見事優勝を飾ったのは地元・南三陸さんさん商店街の「さんさんたこカツバーガー」（写真右）。志津川湾で捕れたタコのすり身を揚げたプリプリのたこカツを、タルタルソースで仕上げたもの。さんさん商店街のマルセン食品（三浦洋昭社長／南三陸志津川ライオンズクラブ前会長）のオリジナル・バーガーだ。

　マルセン食品は震災後、毎月最終日曜日に開催されてきた南三陸福興市に出店。ここで人気を博してきた「かまぼこコロッケ」を元に「たこカツバーガー」を開発した。かまぼこコロッケ同様、サクサ

クの衣とプリップリッの食感が、多くの人の舌をとらえ、今回の「復興グルメF-1大会」でのグランプリ獲得に結び付いた。

南三陸さんさん商店街

今回の大会で優勝を飾った南三陸さんさん商店街は、中小企業基盤整備機構が2011年12月に整備し、翌12年2月に開業。町の復興を担う地元の事業者32店舗が軒を連ね、南三陸志津川ライオンズクラブ会員の店舗も6軒入っている（ライオン阿部英世＝デイリー衣料 アベロク／ライオン阿部雄一＝YUSHINDO／ライオン及川善祐＝及善蒲鉾店／ライオン佐藤信一＝佐良スタジオ／ライオン三浦洋昭＝鮮魚 マルセン／ライオン山内正文＝ヤマウチ）。また、商店街の案内窓口「さんさん商店街インフォメーション」には、南三陸志津川ライオンズクラブの事務局を務める佐々木美枝さんも在籍している。

かさ上げした土地に囲まれるように建つ南三陸防災対策庁舎

南三陸町（佐藤仁町長／南三陸志津川ライオンズクラブ）では現在、中心地のかさ上げ工事が進んでいる。佐藤町長らが避難し、九死に一生を得た防災対策庁舎の周辺もすっかり変貌。今や庁舎はかさ上げした土地に囲まれるようにして建っている。その防災対策庁舎の真ん前の小高い土地は、南三陸さんさん商店街の後継施設が移転を予定している場所で、17年3月に本設の商店街としてのオープンを目指している。

中小企業基盤整備機構による仮設店舗の貸与期間は5年間のため、新しい商店街は当初、16年12月に開業する予定だった。が、新施設を運営するまちづくり会社「南三陸まちづくり未来（三浦洋昭代表取締役）」は、冬の閑散期に開業することへの懸念や周辺の国道整備の遅れから町に延期を要望。これを受けて、佐藤町長は当初計画より3カ月遅い17年3月オープンとする方針を決定した。新しい商業施設が建設される地域は、市街地復興事業の早期まちびらきエリアに指定され、整備が急ピッチで進んでいる。

（取材／鈴木秀晃）

大震災にもライオニズム高揚

樫村 弘
（福島県・いわきライオンズクラブ）

かしむらひろし　1942年福島県いわき市生まれ。いわき市議会議員9期目（元市議会議長）。72年入会。4、14、21年度クラブ会長。

永年会員表彰され花束を受け取るライオン樫村（右）

2011年3月11日14時16分に発生し、マグニチュード9・0を記録した東北地方太平洋沖地震は大津波を発生させ、東京電力福島第一原子力発電所の大事故も引き起こし、我がいわき市も未曾有の複合災害を被りました。今もなお復旧・復興に全力を挙げているところですが、こうした中でライオンズクラブのアクティビティが高く評価されていると自負しています。

あの日はいわき市内の中学校の卒業式があり、私は母校で市議会議員として祝辞を述べました。その後自宅に居たところで、経験したこともない激しい揺れに襲われたのでした。千年に一度という大地震で我が家は全壊。しかし自宅にも市内各地から電話によるSOSが殺到しました。我が家のことは妻に任せ、私はその対応に追われました。

市内の被害は死者460人（福島県内では不明者及び関連死も含め3812人、全国では2万2135人）、市内家屋の全壊7902戸、大規模半壊9253戸、半壊3万3146戸、一部損壊4万8879戸に達しました。水道、下水道、道路、橋、河川、山林、各公共施設等々ありとあらゆるものが破壊され、被害総額は370億円にも上り、皆がパニック状態でした。

こうした状況下にあって市議9期目の私もフル回転で対応に追われておりましたが、日本人のすばらしさ、助け合いの精神も実感しました。我が市には義援金約7千件16億円が寄せられ、その他、物品や全国の自治体からの人的支援、数多くのボランティアも来てくださり、頭の下がることばかりでした。

特にライオンズクラブからの善意は忘れられません。332-D地区、福島県・いわき中央、いわき勿来、千葉県・松戸中央、東京秋葉原、東京武蔵野の各クラブなど、個人のメンバーも含めた義援金はライオニズムの高揚を感じさせました。

このうち特筆すべきは、我がクラブと姉妹提携を結んでいる東京渋谷ライオンズクラブです。震災直後に市に100万円、その後いわき市東日本大震災遺児等支援事業基金に200万円、また同クラブ・メンバーでいわき市出身のライオン渡辺軍寿は個人で200万円を寄せられました。更に同クラブは、原発事故による放射能汚染に対応するために設立された「認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね」には12、13、15年に各100万円ずつ計300万円を寄付し、大いに活用されております。我がいわきライオンズクラブも市への60万円の他、東京渋谷ライオンズクラブに呼応して「たらちね」に50万円を寄付し感謝されました。

今回の東日本大震災は、大地震、大津波だけでなく、原子力発電所の大事故による放射能汚染問題が大きな影を落としています。廃炉までに40年以上もかかると聞いただけで、気が遠くなりそうです。原発事故の罪深さは想像以上です。

私は一地方議員としてだけではなく、43年間に及ぶライオンズ・メンバーとしての誇りを胸に、今回の東日本大震災に伴う各種課題と、地方創生などに自分なりに取り組まなければならないと、決意を新たにしております。

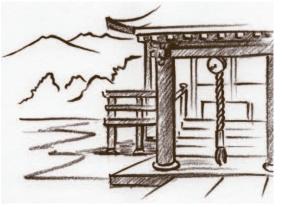
●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

デッカイ将来

前田　秀男（岩手県・盛岡不来方）

２０１５年３月11日、東日本大震災から４年目を迎えた。その少し前の『岩手日報』に、次の記事が掲載された。「沿岸部は子どもの減少が深刻化している。10年と14年を比較すると０～18歳の減少率は沿岸12市町村で13・５％で、全県の減少率に比べ５・４ポイント高い。最も高かった大槌町は25・2％に上る（記事から一部抜粋）」

その大槌町で、子どもたちのために奮闘している人がいる。その人は、大槌町小槌にある学校法人緑学園の理事長兼みどり幼稚園園長の佐々木栄光先生である。

みどり幼稚園は、昭和40年に佐々木栄雄さん（現園長の父）が設立し、以来親子２代で運営してきた、地元でも歴史ある幼稚園の一つである。そのみどり幼稚園があの震災で全壊となり、初代園長も震災の犠牲となって、幼稚園としての運営が出来なくなってしまった。しかし、現園長は、「とにかくこの子どもたちを何とかしなくては」の一心で、避難所生活を送りながらも大槌高校の施設を借りて幼稚園を再開。その後は仮設施設に移って運営してきた。しかし、多くの制約を受ける仮設施設での幼稚園生活は、大人にもまして子どもたちへのストレスは相当なものだったと聞く。園長としては「何とか子どもたちがストレス無く大きな声を出し、自由に走り回れる環境にしなければ」という強い使命感を感じたことだろう。

イラスト／小川和政

しかし幼稚園の再建は、土地や資材の高騰がハードルとなり、困難を極めた。

幼稚園再建に向け園長自ら資金調達のために奔走していた折、青年海外協力隊の世話人であり当クラブ・メンバーでもあるL須永宏から声が上がり、クラブで資金の一部を支援することを決めた。更に姉妹クラブである京都洛北ライオンズクラブの協力も頂き、14年6月、当クラブの山崎清基会長（当時）から支援金をお渡しすることが出来たのである。佐々木園長の熱意が伝わり、当クラブの他にも、海外赤十字を始め

多くの団体からの支援で、現在の場所に新築・移転して、その年10月12日から子どもたちが自由に走り回れる幼稚園が再建された。

私がみどり幼稚園を訪問したのは、開園から約4カ月後の3月5日である。思うように復興が進まぬ旧市街地を見つつ、迷いながらも、新しい幼稚園にたどり着くことが出来た。

佐々木園長は、見るからに温厚で優しい園長先生という印象である。限られた時間の中、子どもたちの元気な声を効果音に、園長先生からお話を伺うことが出来た。園長が最後におっしゃった「子どもの数イコール町の将来」という言葉が印象に残っている。世は少子化云々と騒ぐが、被災地にあっては転出という深刻な問題もあることを思い知らされた。

この子どもたちが地元に留まり、この街の復興の一端を担い、そしてこの街の歴史を見届けてほしいと強く願う。

（12年入会／14年度地区『ライオンいわて』編集委員／56歳）

血の尊さ・そして今献血

岡本　崇（和歌山県・御坊）

もう40年前のことになる。幸せに美しくとの願いを込めて「幸美」と名付けた三女を、掛けた願いとは裏腹に、小児がんで亡くした。この子は「Rhマイナス」という特殊な血液型だったので、見ず知らずの方から新鮮血の輸血を頂いた。輸血の量は1回200ミリリットル。わずかカップ1杯量の血を頂いただけで、あの子の青白く透き通った頬と唇にポーッと紅が差してきた。ぐったりとしていた子がムクムクと起き上がって、「お母ちゃん！　お腹が空いた、何か食べたい」と言い出したのだった。「血液とは栄養素を運んで体内を流れている単なる赤い液体ではない。血の中には頂いた人の真心がこもっている」と血の尊さに感動した。

娘亡き後、私は献血に努め150本に達した。それら献血に関係して気付いたのが「若者の献血がいかにも少ない」ということだった。これは全国的な傾向で、10～20歳代の献血者数が減少を続けているという事実も知らされた。若い人の献血が少ないということは、献血人口の底辺が小さいということで、今後、年々提供者が高齢化してゆけば、絶対量が減少していくことを意味する。近い将来、血液が不足するという事態に陥ることが心配だった。献血人口の底辺を形成する10代の中心は大方が高校生で、高校生献血に積極的に取り組むべきという思いが私の胸に湧いてきた。

私が40年前に経験したような、患者の関係者が新鮮血を求めて走り回ることは、現代の我が国ではもう無い。でもそれは、いつでもそれに対応出来るだけの血液が、日本のどこかの血液センターに確保されているからだということを忘れてはならない。縁あって高校生や大学生などに「血の尊さ」を話すようになったのは、このような経験があったからに他ならない。

爾来、献血とは、採血をするという単なる「行為」ではない。血液に込められた「人の真心」を人に伝える、言い換えれば「人から人への命のリレー」という大きな「社会的使命」を持っているという持論を、世の人々、特に現代の若者たちに語り続けてきた。残念なことだが、その私も今や老齢のこと

もあり体調を損ね、講演活動をお断りすることを余儀なくされている。

講演した高校や大学からは感想文が送られてくる。それらの書き出しはまるで申し合わせたように「献血は痛い、怖い、だからしない。これからもするつもりはない」とか、「献血バスに何度か行き合わせたが、私一人くらいしなくても関係ないだろうと顔を背けて通り過ごしました」などである。いわゆる献血に対する恐怖心と無関心というやつだ。これは高校生も大学生も全く同じことで、年齢によって考えが進歩している訳ではない。ところが「痛い怖い」と書いた生徒たちが皆といって良い程「岡本さんの話を聞いて血の尊さ、献血の大切なことが分かりました。僕の血が、私の血液が、誰かを救うことになるのなら、そんなことは言ってはいられない。今度は必ず献血をします」と、心境の変化を書いてくれていた。「早速献血ルームへ行ってきました」というものもあった。

紆余曲折はあったが、やっと「学校に献血バスが来る」ということになった日。献血バスに乗り込む大抵の生徒は、初体験の緊張で顔がこわばっている。看護婦さんから「針を射します。少し痛いですよ、ごめんなさいね」と優しい声を掛けられ、こわごわ差し出した腕からほとばしり出る真っ赤な自分の血液を見た時、生徒の心の中では驚きと感動のドラマが展開されたことであろう。採血が終わってきっちりと止血帯が巻かれ、「400ミリリットル頂きました。ありがとうございました」の声を背に献血バスから降りてきた時、乗る時とは大違い、自信満々、とっても良い顔をしているのだ。「案外簡単やった」と笑う言葉の裏に「俺（私）って良いことが出来るんだ」という思いが自然と現れるのだろう。この「良いことが出来る、人のために何かが出来る」という、献血を体験したことから生まれた他人への思いやりが、多くの若者の心に定着して行動を起こしたら、その時こそ我が国の未来は明るいと言えるのではないだろうか。

今、献血事業の前途は決して明るいとは言えない。このままでは献血人口は減少する危機をはらんでいる。解決策は若者の献血を推進すること以外にはないと思う。出来るだけ早く高校生献血に取り組むことである。そしてこれを実行出来るのは、ライオンズクラブの他にないと私は信じる。

（78年入会／09年度地区献血委員長／82歳）

盲導犬はどんな仕事をするのか

下郡 良一（大分県・玖珠）

私は今期、玖珠（くす）ライオンズクラブの第2副会長及び福祉委員長を拝命しました。そして小野哲郎社会福祉委員長と山越由紀枝同副委員長の提案により、大分盲導犬協会の支援に取り組むことになったのです。そこで私は改めて盲導犬について勉強を始めたのですが、『〈刑務所〉で盲導犬を育てる』（大塚敦子著）という本を読み、大変学ぶことが多かったので、私が特に重要だと感じた点を抜粋してご紹介したいと思います。この本は、受刑者が更生プログラムの一つとして盲導犬の子犬を育てる過程を追ったルポルタージュです。

獅子吼

まず、盲導犬はどんな仕事をするのでしょうか。私たちはつい、盲導犬が視覚障害者の道案内をしているかのように勘違いしてしまいがちですが、実はそうではありません。盲導犬の仕事は、目の不自由な人が安全に歩けるよう手助けすることです。①曲がり角に来た、②障害物がある、③段差がある。これらの情報を盲導犬が伝えることによって、交差する道路にそのまま出てしまう、物にぶつかる、段差でつまずく、落ちる、などの危険を回避することが出来るのです。

盲導犬がすごいのは、たとえ人間が「ゴー（行け）」と言っても、自分が危ないと思ったら動かずにいる、という不服従が出来ることです。とはいえ、犬の頭にナビが入っていてどこへでも行きたい所へ連れていってくれるわけではありません。あくまでも人間の方が地図を頭に入れた上で、犬が伝えてくれる「曲がり角にきましたよ」「階段がありますよ」という情報を元に、「じゃあ、右に曲がるよ」「階段を降りるよ」と、人間が下した判断を犬に伝え、お互いの情報をやりとりしながら歩いているのです。

共に歩く人と犬をつないでいるのは、盲導犬が仕事中体に付けている白い胴輪、ハーネスです。盲導犬ユーザーはこのハーネスのハンドル部分を手で握り、犬と並んで歩きます。ハーネスを通して伝わってくる犬の動きからは、その時々の犬の気持ちまで感じられて、まるで神経のようなのだそうです。

ユーザーと盲導犬は深い信頼と絆で結ばれています。目の不自由な人にとって、温かく血の通った存在がいつもそばにいてくれることの安心感はどれ程でしょう。また、社会的な動物である犬にとっては、自分の飼い主とどこにでも行けるというのはどれ程うれしいことでしょう。家族が出掛けて誰も居ない家で、時には玄関先の犬小屋で、何時間も一人ぼっちで過ごす犬より、どれだけ幸せかと思います。

テクノロジーの発達により、目の不自由な人がスマートフォンなどの道案内を聞きながら歩けるようになる日はもうすぐそこまで来ています。

しかし、どんなに便利な機器が出来たとしても、盲導犬が機械に取って代わられる日が来ることはないでしょう。なぜなら、人と犬の絆は、決して機械で代替出来るものではないからです。手を伸ばせばいつもそこにいて、ぬくもりと安心をくれるパートナー。それはやはり盲導犬でなければ務まらない大切な仕事なのです。（05年入会／66歳）

リーダーシップについて

東都　宏（神奈川県・横浜中央）

辞典によれば、リーダーシップとは「集団をまとめながら目的に向かって導く機能」となっています。言い換えれば、リーダーシップとは組織を成功に導く原動力であり、組織のあるべき新しいビジョンを作り、理想的な方向へ組織を変革させることが出来る能力ということになります。

ライオン一人ひとりは、それぞれ所属する社会において信奉を集め、これをリードする立場に立っておられる方々と思いますが、リーダーシップはライオンズクラブという組織には特に必要な資質だと言われています。

最近の世の中はめまぐるしく変化し、対処が困難で、諸組織内での問題はま

すます複雑になっています。これは意外性、矛盾、対立、抗争、不一致、混乱など、ライオンズという組織にも起こりやすい現象のようです。このような変化の時代を生き抜くためにリーダーは、進歩を創造し、組織を発展・存続させる中心的な存在になります。優れたリーダーシップ無しには、組織を成功に導くことは困難だと思われます。

「導くためには従わねばならない」とは老子の有名な言葉ですが、リーダーたるべき人の心得として、他の人々の話にも耳を傾ける、いろいろな情報を仕込む、価値観の違った人とも交わる、といった「和と輪」が、大切な要件になると思われます。

一方、マネージメントという言葉があり、リーダーシップと同様に大切な機能ですが、両者には根本的な違いがあるようです。マネージするとは「責任を引き受けて実行し物事を成し遂げること」であり、リードするとは「物事を与えて方向・手順・意見などを導くこと」と言われています。即ちマネージャーは「物事を正しく行う人」であり、リーダーは「正しい物事を行う人」ということになりそうです。

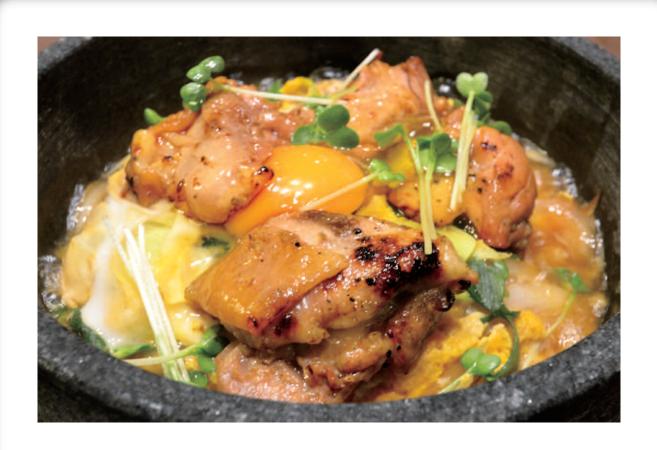
リーダーに必要な個人的特質は何だと思うかを多くのリーダーに質問したところ、それはカリスマ的功名心ではなく、信頼感、疲れを知らない忍耐力、自分をよく知ること、敢然と危険に立ち向かい、負けてもへこまない態度、行動力と持久力とチャレンジ精神、というのがその答えでした。カリスマとは優れたリーダーシップの近道ではなさそうです。リーダーシップに優れた人は、部下から尊敬と畏敬の念を集め、それによって彼らの心を引き寄せると言われています。

リーダーシップとは、自己をよく知り、そして他の人々も一緒について来るように、力を合わせて風の中を突き進むようなものです。大事なことは風に向かってどちらの方向に進むかということではなく、一つの方向を選び、みんなが納得出来るようにしつつ、それを貫くということになりそうです。「俺について来い」と命令調で引っ張るのではなく、みんなが納得して自然について行くような、そんな「引き寄せる力」がリーダーシップの本当の姿ではないかと思います。

参考文献：ウォーレン・ベニス、バート・ナナス著『リーダーシップの王道』

（68年入会／89歳）

北海道旭川市

石焼き親子丼

旭川で国際会長公式訪問があった9月10日。午前中のプログラムが終わり、公式訪問までの間に昼食を取ろうと、会場を出て駅方面へ歩いていたところ、東日本大震災の支援活動で知り合った北海道・倶知安ライオンズ（クラブ）の（ライオン）大広直とばったり遭遇。そして親子丼を食べに行くという（ライオン）大広に誘われ、あっさり会場方面へ方向転換。向かったのは、旭川市内のライオンズクラブが合同事務局を構えるコスモビルだった。

その地下にあったのが、同行の（ライオン）豊島信一（伊達ライオンズ（クラブ））お勧めの店「とはち」で、肉屋さんの経営らしい。メニューによると、お目当ての親子丼は、「ほぼ地元の食材にこだわっている」そうで、鶏肉は道東の中札内、卵は旭川、米はお隣・当麻産おぼろつき、サラダの野菜は道北の稚内という具合。そして厳選した鶏肉を炭火で焼き、石焼きビビンバで使う石鍋に入れて提供している。ご想像の通り、熱々の親子丼だ。

●「とはち」北海道旭川市5条通9丁目1163・1　コスモビルB1

ふるさと探訪

熊本県芦北町　取材／鈴木秀晃　写真／田中勝明

不知火海の冬の風物詩 うたせ船漁と吊るし焼きエビ

エビが丸まらないよう腹同士を合わせて竹串に刺し、松の薪で2時間ほどじっくり焼く（撮影協力：みやもと海産物）

焼きエビでだしを取る ぜいたく雑煮

元日の朝、家族で食卓を囲み雑煮を食べる。正月と聞いて、日本人の誰もが思い浮かべる風景だろう。が、ひとくちに雑煮と言っても千差万別。入れる餅は角餅か丸餅か、すまし汁か味噌仕立てかなど、地方によってだいぶ違いがある。不知火（しらぬい）海（八代海）に面した熊本県南部と鹿児島県北部では、焼きエビでだしを取るぜいたく雑煮が定番だ。

11月に入ると、不知火海では「海の貴婦人」と言われるうたせ船が沖に出て白い帆を上げる光景が見られる。風力で船を斜めに動かし、鉄製の爪が付いた「けた網」を引く伝統漁で、狙いは11月から2月までが漁期となるクマエビ。大型のクルマエビの仲間で、熊本では脚が赤いことからアシアカエビと呼ぶ。味が濃厚で、刺身でも塩焼きでもおいしいが、それをだしに使うのが芦北風。

港に揚がったエビは、近くの加工場に運ばれる。新鮮なうちに竹串に刺し、囲炉裏を囲むように円周に並べ、1年間乾燥させた松の薪で2時間ほどかけてじっくり焼く。松脂を含む煙でいぶすことで、微妙な味と香りが染み込み、赤みも増す。また

芦北

ASHIKITA

熊本県芦北町（あしきたまち）

県南部、町の8割を緑豊かな山々が占め、それらを源とする清らかで豊富な水が不知火海（八代海）に注いでいる。天草の島々を望む西側は典型的なリアス式海岸で、県立自然公園に指定されている。加藤清正により築城された佐敷城は、薩摩街道と人吉街道（相良往還）が通る要衝の地にあり、その城下である佐敷地区は江戸時代、薩摩と江戸を結ぶ薩摩街道の宿場町として栄えた。温暖な気候を生かした柑橘類の栽培が盛んで、甘夏の生産は日本一、またデコポン（不知火）でも全国有数の生産を誇っている。目の前の不知火海は豊かな漁場となっており、太刀魚やハモ、シャコ、ワタリガニなど、さまざまな海の幸が捕れる。また、アシアカエビを捕るための伝統的なうたせ船漁は、今や芦北のシンボル的存在となっている。

面積／233・81平方キロ　人口／1万8641人（2015年4月1日現在）

【交通アクセス】

JR九州肥薩線と、肥薩おれんじ鉄道が通る。SL人吉が停車する肥薩線白石駅は明治時代に開業した当時のままの駅舎で、SLと共に人気がある。また、話題の「おれんじ食堂」は肥薩おれんじ鉄道佐敷駅に停車する

関越、南九州自動車道の田浦と芦北両インターチェンジがある

松脂には殺菌作用もあり、保存のためにも有効だという。

エビは熱で丸くなるため、焼く時は2尾を腹合わせにし、焼いた後も粗熱が取れるまで板で挟んで重しを掛けておく。その後、大きさなどを合わせながら1尾1尾丁寧に串から外し、10尾ずつ並べていく。更にすすなどが付着していないか確認しながら奇麗にエビを拭き、それを束ねたわらで編んでいく。

わらに結ばれたエビは、1週間ほど陰干しして乾燥させる。その様子から地元では「下げエビ」、一般には「吊るしエビ」と呼ばれる。焼きから乾燥まで時間をかけることで、うまみが殻の中に閉じ込められる。そのため、水につけるだけで、十分なだしが染み出してくるという。

出来上がった吊るしエビは、10尾5千円程度から購入出来るが、大型のものでは7千円から1万円ぐらいになる。そんな吊るしエビを、雑煮1杯に1尾ずつ使う。値段も値段だが、不知火の海の香りを濃厚に感じさせるだしが、お椀いっぱいに広がり、とてもぜいたくな雑煮となる。最近はネットでも購入出来るため、「エビの雑煮でないと正月が迎えられない」というリピーターも増えているそうだが、それも納得の逸品だ。

11月から12月にかけて作られる吊るし焼きエビ
（撮影協力：みやもと海産物）

アシアカエビを使った芦北の伝統的雑煮
（撮影協力：野坂屋旅館）

不知火海でのうたせ船漁。芦北町漁業協同組合により観光うたせ船も運航されている
（撮影協力：芦北町漁業協同組合）

加藤清正が築城した佐敷城跡（国指定史跡）から城下町を望む

熊本藩「準町」佐敷とブランド・デコポン

芦北町の中心部・佐敷は江戸時代、熊本藩五カ町に準ずる「準町」に位置づけられていた。とはいえ、町に指定されていたのは佐敷川に架かる相逢橋周辺のみで、それ以外は同じ佐敷でも佐敷村となっていた。そして準町である佐敷町は城下町としての基盤を元に、肥後（熊本）と薩摩（鹿児島）の産物の交易や、薩摩街道の宿駅としてにぎわった。

現在の佐敷地区は町並みとしての連続性は少ないが、伝統的な白壁の家屋が点在し、往時の面影を伝えている。また、古い家を復元したり、補修したりして、町並の姿を残し保存しようとする動きも見られる。

佐敷で明治時代から続く野坂屋旅館の主人で、薩摩街道の案内人でもある田中正一は「佐敷宿の特徴はのこぎり家並みにある」と説明する。家並みが通りに面して平行ではなく、のこぎりの刃のようにギザギザと斜めになっているのだ。こののこぎり家並みには三つの説があるという。

一つは敵の侵入時に、建物の陰に隠れて身を守り不意打ちをするためという説。もう一つは税が間口に応じて決められていたので狭い間口を有効に使うためという説。三つ目は、通りの邪魔にならずに荷車を着けやすくしていたという説。どれもが正しく思える説で、もしかしたらその全てが合っているのかもしれない。

この準町であった中心部を外れると、芦北が山の多い町であることを実感する。山の斜面にはオレンジ色の実を付けた木々が目に付く。

熊本藩「準町」だった佐敷の町並み

芦北は温暖な気候を生かし、甘夏や「デコポン」など柑橘類の生産が盛んである。1949年に田浦地区で栽培が始まった甘夏は、現在でも生産量日本一を誇る。また、近年は「デコポン」の生産が増えている。

「デコポン」は「清見」と「ポンカン」を交配させたもので、長崎県の試験場で誕生した。が、突起が現われやすく不ぞろいになりやすいなどの理由で品種登録が見送られた。その後、熊本県で品種名「不知火」として栽培が始まり、甘夏に代わる柑橘を模索していた不知火海沿岸を中心に普及した。そして、熊本県果実農業協同組合連合会により「デコポン」として商標登録。「不知火」のうち一定基準（糖度13度以上、酸度1度以下）をクリアした高品質なものだけが、その名を使うことが許され、「デコポン」は全国統一糖酸品質基準を持つ日本唯一の果物となっている。

デコポンの果肉と果汁がぜいたくに使われたデコポンゼリーもある

そんな中、今、注目のデコポンがある。「不知火」から選抜育成された「肥の豊」という品種で、糖度が高く、酸味は少ない。芦北ではこの「肥の豊」への転換がいち早く進んでおり、強い甘みとみずみずしさを併せ持つ芦北デコポンが、ブランド柑橘類として店頭に並ぶ日も近いかもしれない。

▼取材協力クラブ

芦北ライオンズクラブ（迫本一夫会長／31人）＝1964年1月19日結成／スポンサー：水俣ライオンズクラブ／熊本県内7番目のクラブとして誕生、昨年度50周年を迎えた。青少年育成に力を入れ、特に今年度で38回を数える少年野球大会は、読売ジャイアンツに在籍する立岡宗一郎選手を始め、これまでにプロ野球選手3人を輩出するなど、注目の大会となっている。最近では例会のマンネリ化を防ぐため、「飛び出し例会」と称して時々会場を変更し、居酒屋で開くなど会員の融和を図っている。そうした工夫のかいあってか、若い会員の入会が徐々に増え、平均年齢（現在62歳）が若返りつつある一方、80歳のチャーター・メンバーも健在で、楽しいクラブ・ライフを送っている。

読者から―11月号

■子どものために行動を

山田實紘国際会長のメッセージを読み、子どもたちの置かれている状況を考えました。

昨今、不幸な事件があちこちで起こっています。そうした事件の中には小さい子どもたちが犠牲になっているものもあり、助けを必要とする子どもたちもたくさんいることと思います。

そうした子どもたちのためにも、ライオンズ一人ひとりが行動を起こし、支援の輪を広げていく必要を改めて感じました。

岩手県・紫波ライオンズクラブ●阿部正弘

■説得力のあるメッセージ

国際会長メッセージの中で引用された、マララ・ユスフザイ氏の数々のメッセージは現在の国際情勢の中において非常に重い意味を持ちます。国際会長が「ヘレン・ケラーが90年前に視覚障害への支援を呼び掛けた時と同じように、今日のライオンズに響くものがあるはずです」と述べられていますが、これはとても説得力があると思いました。

兵庫県・芦屋東ライオンズクラブ●森川晴之

■自分の出来る範囲で献金を

10月15日にホテルニューオータニで開催されたジョー・プレストンLCIF理事長公式訪問並びにセミナーとレセプション「MJFに感謝したたえる会」に出席する機会に恵まれました。高額献金者への感謝状贈呈に心から拍手を送らせて頂きました。ただただすごい献金額だと驚くばかりでした。

そんな中、ライオン誌11月号増刊で、LCIFから東日本大震災交付金17億円の提供があったこと、そして支援を受けた被災地・被災者の声を拝読しました。どれもすばらしい記事です。

そして、11月号本誌の獅子吼欄で「LCIF千ドル献金をしよう!」の記事を拝読しました。高額献金は無理でも、10ドル、20ドルとこつこつ献金を行って奉仕の役に立つ!を実行しようと強く感じました。

新潟県・分水ライオンズクラブ●渡辺将氏

■会員減でも事業実施に感服

北海道の札幌はまなすライオンズクラブのスキージャンプ大会の記事(SCENE)が印象に残りました。メンバー減少により開催を断念せざるを得なかった中、会員の人脈で開催可能となった点、由緒正しき大会を紹介し会員減少に悩んでいるクラブに対しての奮起を促す内容が興味深かったです。

宮崎オーシャンライオンズクラブ●岩井秀一郎

読者プレゼント

■JA芦北のデコポンゼリーを読者5人に

今月号ふるさと探訪(49~53ページ)で紹介した熊本県芦北町のデコポンゼリーを5人の読者にプレゼントします。芦北で栽培されたデコポンの果肉と果汁がたっぷり入ったゼリーで、さっぱりとした甘みとほどよい酸味が口いっぱいに広がります。大きなデコポンの粒が入っているので、うれしい驚きもあるゼリーです。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「デコポンゼリー」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は1月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028　東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階　日本ライオンズ事務所
＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp)の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=a.／第2問=c.／第3問=b.／第4問=c.／第5問=a.

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

●1981年12月号　獅子吼

「友愛の精神をはき違えないで」

春木静雄（大阪府・金剛ライオンズクラブ）

ライオンズに入会して、15年余りになる。私が入会した当時は、社会に奉仕する精神の人たちばかりで結構だったが、その後、会員増強としてどしどし入会させたため、最近はライオンとしてふさわしくない人もいるようだ。会員を増やすこともいいが、真のライオンズクラブの活動を理解し、社会のために尽くす心の人たちでなければならないと思う。

仕事の関係で年に4〜5回は海外旅行に出るので、各国のクラブ例会に参加している。外国のクラブは実に立派で、真の社会奉仕一筋に活動している。

オーストラリアのニューキャッスル ライオンズクラブのメンバーの娘、デビー・ハデルトンを1年預かり、帝塚山大学で日本語の勉強をさせたが、彼女が帰国して、日本のお父さん、お母さん、オーストラリアに来なければならない、と度々手紙が来るので二人で出掛けた。

我々が到着すると、ニューキャッスル ライオンズクラブが歓迎例会を開いてくださった。地区ガバナーも参加してくださり、非常な歓待をして頂いた。その折、オーストラリアの各クラブ10カ所を訪問した。

ライオンズのYE交換学生の仕事は、外国との親善に大きく役立っている。私はまた、ニューギニアのベイ・ケーリーという娘を、今年1月いっぱい預かった。

また、イギリスのロンドンライオンズクラブの25周年記念式典にも参加した。どこでも、美しい精神でクラブ活動をしている姿に心打たれた。

どうか日本のライオンズも、真のライオンズ精神を守り、社会のために奉仕してもらいたいものだ。

あるデピュティー・ガバナー（現リジョン・チェアパーソン）が嘆いていたが、最近はクラブ役員になりたくて運動をし、工作している人があるとか。そうやって役職に就いたところで、何の意味があるのか、何の魅力があるのか、と考えさせられる。ライオンズのメンバーは1対1である。クラブでは役員も一般メンバーも同一で、メンバーは会長の使用人ではない。

私がゾーン・チェアマン（現ゾーン・チェアパーソン）になった時、前任者は年間相当額の交際費を使ったというので、なぜそんなにいるのか、と聞いたところ、ゾーンのクラブ会長、幹事、事務局員を連れて年2回、一泊旅行をするのに1回数十万円ずつ負担したという。私はそんな金を出すのがいけない、クラブ親睦旅行なら各クラブで負担すべきであるとして、その通り実行したので、後任の方々から非常に喜ばれた。

あるクラブでは年末年始の一泊旅行を例会振り替えでやっているが、参加出来ない会員からは会費の半額を取り、それも旅行の費用に使っているという。なるほど例会振り替えだから、何か差し支えがあって参加出来ない会員も会費を出すのはいいと思うが、それを親睦に使うのはどうだろうか。ドネーションとして事業費に入れるべきではないか。

ライオンズクラブにおける友愛の精神をはき違えないようにしてもらいたい。会員の親睦は、協力一致して社会のために尽くす心にある。

ライオン誌例会のススメ
―次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■日本での国際大会開催

2016年6月24～28日、日本では4度目となる国際大会が福岡市で開催される。日本初、アジア初となる東京国際大会が開かれたのは69年7月2～5日。海外から約1万5千人、日本から約2万人が参加した。総会会場は日本武道館で、開会式には天皇・皇后両陛下が臨席された。インターナショナル・パレードは代々木公園から表参道、青山通りを経て神宮外苑の銀杏並木通りへ至るルートで行われた。

今月号特集にある通り、福岡国際大会では博多地区と天神地区を結ぶ明治通りでインターナショナル・パレードが行われる。毎年200万人を動員する博多どんたくと同じルートで、各国ライオンズによる華々しいパレードが披露される。

東京都心の青山通りを進む第52回国際大会（69年）のパレード

この日・この月

毎年1月1日から2月末までの2カ月間、はたちの献血キャンペーン（厚生労働省・都道府県・日本赤十字社主催）が実施される。冬季は体調を崩したり、外出を控えたりする人が多く、献血者が減少する傾向にある。そこで1月に成人式を迎える20歳の若者を中心に広く国民に献血に対する理解と協力を求めることが、このキャンペーンの目的だ。キャンペーンの標語は毎年公募で選ばれる。2016年は「献血にふみだす一歩 はたちの勇気」だ。

献血者数は年々減少しているが、特に10代（献血が可能となる16歳）から30代の献血離れは深刻な問題だ。この年代の献血者は95年に約430万人、05年に約320万人だったが、14年には約220万人に減少している。またこの年齢層の人口は14年時点で約3400万人だったが、少子化により20年には約3060万人、30年には約2700万人と、著しく減少すると予想されている。一方で輸血を必要とする高齢者の割合は増加する。日本赤十字社では、2027年に輸血を必要とする人の延べ人数が約545万人でピークを迎え、献血者約89万人分が不足すると試算している。

クイズ de 例会

〈第1問〉麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主宰する啓発活動のキャッチフレーズは「〇〇。ゼッタイ。」

a. ダメ　b. ノー　c. イヤ

〈第2問〉福岡国際大会は日本では何年ぶりの国際大会？

a. 10年　b. 12年　c. 14年

〈第3問〉福岡国際大会は第何回の国際大会？

a. 第98回　b. 第99回　c. 第100回

〈第4問〉福岡国際大会で開会式会場となる福岡 ヤフオク！ドームを本拠地とする球団は？

a. 楽天ゴールデンイーグルス
b. DeNAベイスターズ
c. ソフトバンクホークス

〈第5問〉世界に七つある会則地域。ヨーロッパは第何会則地域？

a. 第4　b. 第5　c. 第6

★回答は54㌻下

2月号予告

特集 バンコク・フォーラム

東洋・東南アジア地域のライオンズが一堂に集い、共に学び、交流する東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラム。54回目を迎えた今年度は2015年12月3～6日の日程でタイ・バンコクで開催された。そのフォーラムの模様をリポートする。

Official publication of Lions Clubs International

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　西川 義規
国際理事　安井 克之
国際理事　佐藤 宜之
委員長　塚田 雅二（333複合地区）
編集長　井村 一男（337複合地区）
委員　久津間康允（330複合地区）
委員　中嶋 辛（331複合地区）
委員　佐藤 義則（332複合地区）
委員　石井 博之（334複合地区）
委員　中村 房雄（335複合地区）
委員　寺越 愼一（336複合地区）

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777（代）　FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

フォーラム・リポート余話

ライオン誌
日本語版委員
◉
中嶋　辛
（北海道・室蘭北斗）

新年明けましておめでとうございます。

山田實紘国際会長の就任から半年が過ぎました。日本のメンバーの一人として、ご活躍を大変誇りに思っているところです。

私共ライオン誌委員は今年度、世界の各会則地域で開催されるエリア・フォーラムに参加し、OSEALフォーラムとの違い、そこに参加しているメンバーの意識などを取材し皆様にお伝えしています。私が担当したUSA／カナダ・フォーラムはアメリカ・ミシガン州グランドラピッツで開かれ、12月号でリポートしました。会場では多くのセミナーが行われ、遠方から集った参加者が多くを学べるよう、無駄な時間を作らない工夫がされていました。また女性の参加者が多いのには驚きました。

夕食会は懇親の場であると同時に学習の時間なので、アルコールの提供はありません。食事の時間にも、LCIFの大切さを伝える映像の上映やヘレン・ケラーのスピーチの再現など、上手な演出でライオンズの活動や歴史を分かりやすく参加者に伝えていました。会場への案内板、会場内の垂れ幕等は一切なく、各セミナー会場の入り口に小さな立て札がある程度で、余分な経費を徹底して省いていることが分かりました。

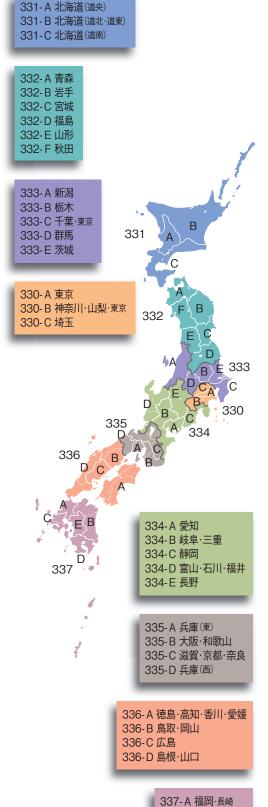
その夕食会の席で会費について質問され、私の所属クラブの会費を伝えると驚いていました。アメリカやカナダのクラブは年会費が70ドルから80ドルとのことでした。同席したアメリカのメンバーのクラブでは、運営費にはお金を掛けない一方、資金獲得事業で日本のクラブの年間予算に匹敵する額を集めていると聞きました。これはほんの一例ですが、一考の余地はありそうです。

グランドラピッツは歴史ある街で、学園都市でもありますが「コンビニ」は1軒もありません。地元の店を保護し、街を衰退させないための施策だそうです。日本人の私にとってはちょっと不便でしたが、古い店も新しい店も街の景観を崩すことなく調和が取れていると感じました。

本年も誌面を通じて皆様にご奉仕出来るように努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

日本ライオンズクラブ分布図

2015.11.30　eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性（割合）	子会員	増減	男性	女性
330-A	203	6,536	111	4,739	1,797（27.5）	1,877	48	609	1,268
330-B	166	4,889	120	4,041	848（17.3）	631	31	176	455
330-C	87	2,438	5	1,972	466（19.1）	400	-14	111	289
330 計	456	13,863	236	10,752	3,111（22.4）	2,908	65	896	2,012
331-A	73	2,830	60	2,266	564（19.9）	516	16	97	419
331-B	85	2,766	87	2,239	527（19.1）	452	19	57	395
331-C	53	2,007	54	1,650	357（17.8）	332	26	86	246
331 計	211	7,603	201	6,155	1,448（19.0）	1,300	61	240	1,060
332-A	64	2,134	53	1,674	460（21.6）	341	10	73	268
332-B	53	2,456	41	1,622	834（34.0）	825	30	133	692
332-C	68	1,877	57	1,342	535（28.5）	488	5	102	386
332-D	73	2,516	104	1,940	576（22.9）	518	44	109	409
332-E	56	2,073	50	1,622	451（21.8）	379	15	58	321
332-F	45	1,444	45	1,053	391（27.1）	335	22	57	278
332 計	359	12,500	350	9,253	3,247（26.0）	2,886	126	532	2,354
333-A	75	3,383	75	2,635	748（22.1）	713	3	165	548
333-B	49	1,637	74	1,065	572（34.9）	431	16	98	333
333-C	133	3,837	57	2,917	920（24.0）	710	-11	254	456
333-D	53	2,454	128	1,763	691（28.2）	715	75	168	547
333-E	79	4,506	159	2,966	1,540（34.2）	1,621	3	411	1,210
333 計	389	15,817	493	11,346	4,471（28.3）	4,190	86	1,096	3,094
334-A	119	7,261	215	4,752	2,509（34.6）	2,564	105	524	2,040
334-B	81	5,389	0	3,494	1,895（35.2）	2,264	-18	524	1,740
334-C	80	3,815	38	2,995	820（21.5）	787	3	113	674
334-D	99	6,252	73	3,994	2,258（36.1）	2,375	-14	411	1,964
334-E	52	2,671	96	1,892	779（29.2）	761	14	197	564
334 計	431	25,388	422	17,127	8,261（32.5）	8,751	90	1,769	6,982
335-A	83	2,220	64	1,771	449（20.2）	199	14	30	169
335-B	171	6,948	403	5,020	1,928（27.7）	1,663	235	334	1,329
335-C	120	4,251	132	3,544	707（16.6）	439	49	97	342
335-D	64	2,052	54	1,644	408（19.9）	286	21	72	214
335 計	438	15,471	653	11,979	3,492（22.6）	2,587	319	533	2,054
336-A	148	6,351	160	4,774	1,577（24.8）	1,182	53	213	969
336-B	95	3,294	176	2,721	573（17.4）	279	67	41	238
336-C	96	3,467	289	3,006	461（13.3）	245	207	47	198
336-D	95	3,481	257	2,902	579（16.6）	377	177	36	341
336 計	434	16,593	882	13,403	3,190（19.2）	2,083	504	337	1,746
337-A	116	6,062	354	4,174	1,888（31.1）	1,618	236	344	1,274
337-B	69	3,036	47	2,164	872（28.7）	869	31	176	693
337-C	82	4,412	70	2,881	1,531（34.7）	1,595	44	458	1,137
337-D	78	2,497	76	2,122	375（15.0）	221	29	37	184
337-E	57	1,762	99	1,456	306（17.4）	199	61	55	144
337 計	402	17,769	646	12,797	4,972（28.0）	4,502	401	1,070	3,432
総計	3,120	125,004	3,883	92,812	32,192（25.8）	29,207	1,652	6,473	22,734

世界のライオンズ

2015.11.30　国際協会集計

国または領域………210　クラブ数 ………46,891
会員数 ……1,398,854　会員数増減……20,940

奉仕の歴史を奉仕で祝う 100周年記念奉仕チャレンジ

2年後に迫った協会創設100周年祭を、ライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、今年度から「100周年記念奉仕チャレンジ」がスタートしました。「青少年の奉仕を促そう」「視力を分かち合おう」「食料支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブが事業を行い、それぞれ2500万人、計1億人に奉仕しようという挑戦です。実施期間は2014年7月から17年12月までで、4年度にわたって続けられることになります。

YOUTH
2500万人に貢献

青少年の参加を促そう - 地域の青少年を助ける奉仕事業を行ったり、あるいはレオや地域の青少年に一緒に奉仕を行ってもらい、次世代のボランティアを育てることも出来ます。

VISION
2500万人に貢献

視力を分かち合おう - 目の不自由な子どもや隣人の役に立つ事業を計画して、視力の贈り物をしましょう。

HUNGER
2500万人に貢献

食料支援をしよう - フードドライブ（食品回収）や炊き出し支援活動などを通じて、家庭や地域の健康を支えます。

ENVIRONMENT
2500万人に貢献

環境を保護しよう - 環境を保護・美化する事業を企画し、皆にとって住みよい町づくりを目指しましょう。

ライオンズクラブ国際協会創設100周年のテーマは、「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」。
地域のニーズに応えるアクティビティで、100周年祭を祝う記念奉仕チャレンジに参加しましょう。

99th ライオンズクラブ国際大会

～福岡市にて開催～

期間 **2016年6月24日(金)～28日(火)**

Do for People
Do for World

99th International Convention
2016 Fukuoka Japan

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」
Do for People Do for World

今、世界はライオニズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。
全ての国家と民族に自由と正義を保証する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が挙行されます。
全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的で有意義な誇るべき大会になることでしょう。
ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となって
おもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています！
※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

主要会場

・本部ホテル

・インターナショナルショー　・初日総会(開会式)
・2日目総会　・最終日総会(閉会式)

・展示ホール　・物販ブース　・フードコート
・投票

・大会登録　・参加キット受け取り　・セミナー
・会議

国際大会の主なスケジュール（予定）

6月24日(金)
- **大会登録や参加キットの受け取り**
  午前10時～午後5時・福岡国際会議場
- **展示ホール**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡

6月25日(土)
- **インターナショナルパレード**
  午前10時スタート・福岡市のメインストリート明治通を行進します
- **展示ホール**
  午前11時～午後5時・マリンメッセ福岡
- **インターナショナルショー**
  午後7時～8時15分・ヤフオクドーム

6月26日(日)
- **初日総会／開会式**
  午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月27日(月)
- **2日目総会**
  午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- **展示ホール、セミナー会議**
  午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

6月28日(火)
- **投票**
  午前7時30分～10時30分・マリンメッセ福岡
- **3日目総会／閉会式**
  午前10時～午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。
☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表していますので是非ご参照ください。
ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」パスワードは「japan」です。

第99回 ライオンズクラブ国際大会　ホスト委員会事務局
〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3　ヒルトン福岡シーホーク
Tel／092-407-8199　Fax／092-407-8948　E-mail／lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp
http://lions99-fukuoka.jp

ライオン誌1月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費78円
2015年(平成27年)12月20日発行　毎月1回20日発行　第58巻第7号
発行所　日本ライオンズ事務所　〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15　JOTOビル9階　Tel 03-6674-8777
印刷所　凸版印刷株式会社